

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2019年
年報号

49

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY



Contents

- 2 巻頭言：齊藤準平
- 3 平成31年度 研究室紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 平成30年度 修士論文・卒業研究
- 11 平成30年度 教員の研究・活動 (2018.4.1～2019.3.31)
- 29 平成30年度 学生の受賞等 (2018.4.1～2019.3.31)
- 29 教室の動き
- 30 TOPICS 新任教員の紹介
- 31 平成30年度 就職状況
- 32 表彰
- 32 編集後記

巻頭言：齊藤準平

実験は修行の如し

表紙写真は、交通システム工学科写真コンテストの過去の応募作品です



巻頭言 実験は修行の如し

准教授 齊藤準平



子供の頃、泥ダンゴ遊びをした際に土に混ぜる水の量によって泥ダンゴの固さが違うことに誰もが気づいたことだろう。最も頑丈に作れる水と土の質量比が最適含水比だ。そんな泥ダンゴ遊びを実験とするならば、私は幼い頃から実験が好きだったんだろうと思う。ただ、そのときは「実験は修行の如し」などと微塵も思いもしなかったのだが。

実験は段取りをしっかりとすることが重要である。段取り八分とはよく言ったもので、これができればだいたい実験は上手くいく。そして良いデータは、細心の注意を払って些細なことにも手を抜かないで、初めて得ることができる。学生時代に当時は新構造型式といわれた4.5mの外ケーブルPCはりの曲げ載荷実験を行った。250kNものプレストレスを与えるのだから、破壊荷重は50kNを超える非常に危険な実験である。最も嫌だったのが、載荷実験の開始直前に載荷ピンと試験体の間に石膏を入れてその間の空間を埋める作業である。これを上手くやらないと荷重がはりに均等に伝わらず破壊の挙動が的確に得られないため、最も重要な作業となる。粉状の石膏に対する水の割合を間違えて多くしてしまうと固まらないし、少ないとすぐに固まってしまう。適切な割合にならないと何度もやり直すことになるのだが、3回もミスをするとう怖い大学院生に怒鳴られるため、さらに緊張して手が震えミスを重ねるといいう悪循環である。今から思うと、そんな危険な実験を研究室配属直後の素人同然の学生たちがよくやったもんだと振り返るが、そんな学生に怪我をさせないように指導する大学院生もひどく疲れたであろう。センサーの取り付けや載荷試験中のクラックの観察など、よくわからずに手を抜こうとするが、すぐに見抜かれ怒鳴られながら結果的に実験は上手くいった。些細なこともおそろかにせず手を抜いてはいけないことを学んだが、精神的にかなり疲れた実験であった。これが修行の日々の始まりである。

私が指導する卒業研究は実験的研究である。仮説を立て実験を行い、実験データからその仮説を裏付けるのである。「社会貢献のために研究をという大げさであるが、自分の研究のゴールがそこにつながっていると思ったら、やりがいを感じないかい？」としばしば卒研生に問う。「いやいやそんな難しい話ではなく、水とセメントと骨材を混ぜて試験体を作り、力を加えて壊したり、衝撃を与えて爆裂させたり、そんなことをするのが好きなんです」という学生がいた。このような好奇心旺盛な学生はやる気があ

て素直にうれしいのだが、私を学ばせてくれた。実験は金がかかる。センサー1つで、5万円、10万円、20万円である。その学生は、ポーラスコンクリートという意図的に空隙を多くしたコンクリートに1kgの鉄球を落下し衝突させ、コンクリートの衝撃吸収量と空隙の関係をそのセンサーで測るといふ実験を行う予定であった。センサーが届いた当日、いきなり2mの高さから鉄球の落下実験を行い、その衝撃で一瞬にそのセンサーを壊してしまった。20万円が0.5秒で飛んで行ってしまった。嗚呼20万円が嗚呼。「いきなりそんな高さからやるんでなくて、5cmとか10cmとか低い高さから少しずつ距離を広げて大丈夫かどうか確認しながらやるのが常識だろう」と責めたい気持ちを抑え、しっかりと手取り足取り教えなかった自分が悪かったのだと自戒し、「形あるものは壊れるんだから気にするな、何か他のセンサーを考えるよ」と、心は泣いても笑顔を見せて気にしていないそぶりを見せる。修行の日々である。

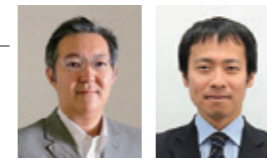
フレッシュコンクリートを丁寧に扱うといい試験体ができるし、雑に扱うと粗悪なものができる。だが、いい試験体ができても安心してはならない。最後の実験で手を抜いたら、実験データは使えないものになるのである。だから最後まで油断は禁物である。コンクリートは水和反応で強度が上がる材料である。異なる条件を作用させてその違いを複数のコンクリート試験体と比較検討するためには、同時に作ったコンクリートは同一の強度で実験をしなければならない。だから水中養生では複数の試験体を同時に水中に入れて、28日後に同時に水から出す必要がある。1つの試験体を水から取り出すのを忘れた学生がいた。かなり落ち込んだ様子で報告してきたが、「何をやっているんだよ」と言いたい気持ちを抑え、「しょうがないじゃないか、新しく作りなさい」と伝え、実験ノートで確認しながら工程管理をすることの重要性を論じた。この学生は、この後も試験体の質量を測り忘れるというミスをしており、なかなか一筋縄ではいかなかった。この学生はもう一人の学生とマッフル炉という高温環境装置に試験体を入れてその挙動を解明する研究を行っていたが、その学生もマッフル炉に一度試験した試験体をもう一度入れるという失敗をやっている。72体の試験体数というのもあって、実験ノートに書いておいたNo.を間違えたとの些細な理由であった。なかなか失敗を防がせることは難しい。修行の日々はまだまだ続く。

平成31年度 研究室紹介

744号室

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授
稲垣具志 助教



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルリズム」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。'まち'は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルリズムとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。

インターモーダルリズムの確立を目指し、交通まちづくりを



成田国際空港での調査



ソウルへの研究室研修旅行

道路交通 研究室

安井一彦 准教授
兵頭 知 助教



道路上の安全性と円滑性を高めるための、交通信号制御について研究を行っている、わが国でも数少ない研究室です。3年生は交通工学、土木情報学関連の基礎知識を習得するゼミ、4年生と大学院生は、卒業研究・修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるさまざまな交通問題について研究を行っています。また、路側にある車両感知器のデータ、自動車プローブデータ、道路空間のデータおよび天候のデータなど長期モニタリングデータ、いわゆる交通ビッグデータを活用した交通安全マネジメント手法に関する研究についても実施しています。

これからも幅広い視野をもって、道路交通の安全・円滑に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、



完成したスティコーン



強風や車両衝突時のスティコーン

実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。

●卒業研究テーマ

- ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行動分析
- ・交通ビッグデータの解析
- ・ITS施策・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・空港・港湾計画のための交通分析
- ・パーソナルトランスポーターの交通分析
- ・観光交通計画のための交通分析
- ・クルーズ客船の活性化のための動向分析
- ・水上飛行機による地方創生の検討
- ・ジェネラルアビエーションの普及にむけた検討
- ・航空機の安全運航に関する分析

●ゼミナール・テーマ

- ・地方創生政策アイデアコンテストに応募
- ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）
- ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として「交通システム計画」「交通需要予測」を履修すること。TOPを取得すること。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページをご覧ください。（pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp）

743・B号室

下記ホームページをご覧ください。

研究室ホームページ：<http://roadtra.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/>

●卒業研究テーマ

- ・交通規制用保安施設の安全性に関する研究
- ・高齢者の道路交通法の理解に関する研究
- ・道路交通法や標識の国際標準化に関する研究
- ・踏切での一時停止規制と利用実態に関する研究
- ・外国人ドライバーの交通事故発生状況に関する研究
- ・横断歩道での車両の一時停止順守率に関する研究
- ・事故リスク推計モデルの構築に関する研究
- ・事故リスクの要因分析に関する研究
- ・事故リスク情報提供の提案・評価に関する研究
- ・道路標示の維持・管理に関する研究

●ゼミナール・テーマ

交通技術者として「道路交通技術必携」と、「交通信号の手引き」の理解。就職にあたっての基礎知識の修得。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通工学に情熱を持っている学生。交通流理論、交通制御、道路工学および演習を履修または取得している学生。



ゼミ旅行の様子

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂 哲宏 准教授



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。とくに、BRT、地下鉄、新幹線などの軌道系交通機関の導入、公共交通指向型開発 (TOD) の実施、都市災害に対する適応策の導入などがCO₂排出量の削減や経済効果の増加にどの程度寄与するか検証しています。また、車両に搭載されているプローブ情報システムやカーナビなどから移動体情報を取得することで交通状態を推計する手法の開発を行っています。これら

のデータに基づいてマイクロ交通流シミュレーションモデルの開発しており、例えば、交通情報を提供することでマルチモーダルを推進する方法など、さまざまな施策の評価に適用しています。



機械学習を用いた車両検知・交通状態の推定 (インド・アーメダバード)

交通環境 研究室

藤井 敬宏 教授
伊東 英幸 准教授



交通環境研究室では、公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、ならびに交通環境の改善に向けた対策などの研究を進めています。

例えば、公共・福祉・観光交通の視点では、コンパクトシティにおける交通ネットワークの整備検討、住民協働型の公共交通整備方策の検討、中山間地域における移動交通手段の検討、心のバリアフリーに関する検討を行っています。また日本や豪州、米国における野生生物と自動車の交通事故の発生要因の分析、シーニックバイウェイに導入による観光客の回遊行動分析や経済効果の推計、交通環境教育用アプリの開発、舗装材料のライフサイクルアセスメント (LCA) などに取り組んでいます。

平成30年度のゼミナールは、大学院生7名、卒研20名、



我孫子市ワークショップ(学生がファシリテーター) ゼミ合宿 (福井県恐竜博物館)

これらのモデルやシステムの開発は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学、インド工科大学ハイデラバード校、ベトナムのハノイ土木大学、オーストリアのウィーン工科大学などと共同で研究を進めています。卒研生や大学院生がこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

●卒業研究テーマ (一部)

- ・TODを前提とした地下鉄、BRT導入時のCO₂排出削減量の推計
- ・タイにおける高速鉄道整備による集積効果の推計
- ・鉄道駅周辺におけるウォークビリティの評価
- ・Bluetoothによるバンコクのリンク間交通状態の空間分析
- ・インド・アーメダバードにおけるプローブデータによるバス走行状態の把握
- ・機械学習を用いた画像処理による交通状態の推定
- ・アプリでの交通情報提供による行動変化に関する研究

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・モデルを活用した計画案の分析方法を学習する。報告書を作成し、講習会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業に就くことを希望している者。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、情報通信システムの受講を推奨する。

3年ゼミ生20名の総勢47名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究中間発表会を年2回、石川県・福井県へのゼミ旅行を行いました。

●卒業研究テーマ (一部)

- ・公共交通不便地域における住民協働を目指した公共交通整備
- ・心のバリアフリーの運用評価 (バリアフリーハンドブックの類型化)
- ・住民主体のボランティア送迎の維持・継続に向けた検討
- ・ユニバーサルデザインタクシーの導入意向の検討
- ・シーニックバイウェイの観光客の回遊行動および主要観光地の分析
- ・日本、米国、豪州における野生生物と自動車の交通事故の発生要因の分析
- ・エコロジカルフットプリントに基づく環境教育アプリの開発
- ・分別再材料化技術によるアスファルト舗装のLCA

●ゼミナール・テーマ (平成30年度実施内容)

- ① グループディスカッション
「社会人に求められる1歩前に踏み出す力とは何か？」等 (スーツ着用審査会のテーマ)
- ② 社会貢献型学習
我孫子市の住民力の高い地区における住民協働型公共交通の導入方策の検討 (我孫子市地域公共交通会議にてゼミ生による成果報告)

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通環境問題に関心を持ち、ワークショップやフィールド調査に積極的に参加する意欲があること。

空間情報 研究室

佐田 達典 教授
江守 央 准教授



空間情報研究室では、衛星測位システム (GNSS)、レーザー計測技術をベースに、先端的なセンサを利用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、3次元地図整備、交通施設整備、移動時の情報提供への応用を目指しています。

GNSSは米国のGPSの他にロシアのGLONASS、EUのGalileo、わが国の準天頂衛星QZSSの高精度測位実験による評価を行っています。さらに、車両や台車にGNSSとレーザー計測装置を搭載して道路空間の形状を走行しながら計測するモバイルマッピングシステム (MMS) を用いて自動走行のための3次元道路情報や歩道の移動円滑化に向けた歩道のバリア情報の抽出や案内誘導などの応用技術を研究しています。また、バーチャルリアリティ (VR) 技術によるバリアチェックにも取り組んでいます。

平成30年度は、大学院生4名、卒研生19名、ゼミナール生19名の総勢42名が在籍し活動しました。

●卒業研究テーマ (平成30年度)

- ① 4機の準天頂衛星による測位精度向上効果の検証
- ② 準天頂衛星のセンチメートル級測位補強の精度検証
- ③ EUの衛星測位システムGalileoの特性評価
- ④ 3次元レーザーキャナ計測の再現性評価
- ⑤ 機械学習によるMMSの点群データの白線部自動抽出

- ⑥ 簡易版近隣歩行環境評価法による新しいみちづくり
- ⑦ 加速度センサを利用した水上飛行機の運行支援
- ⑧ 360度バーチャルツアーによるグルーズ船バリア調査
- ⑨ 広域渋谷圏における小規模店舗のバリアフリー調査

●ゼミナール・テーマ

GNSS、レーザー測定の仕組みについて専門書の輪講・計測体験を行います。また、交通調査や交通バリアフリーに関する見学体験会ならびに論文の講読を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

とくにありません。新技術や社会貢献に興味のある方を歓迎します。



車載型MMS



VR技術を活用したバリアチェック手法の試行の様子

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
菊池 浩紀 助手



交通計画研究室では、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。具体的には、自動車のトリップエンドとしての駐車をどのようにコントロールしていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策に関する研究、災害発生を考慮した都市交通計画の検討などを進めています。さらに、ゼミ合宿、卒業研究中間発表会、研究室懇親会では、研究室の卒業生の先輩方にも参加していただき、研究内容や就職活動に関するさまざまな意見交換を行っています。

平成30年度は、大学院生6名、卒研生10名、ゼミナール生11名に教員2名を加えた総勢29名で活動しました。

●卒業研究テーマ

- ① 駐車施設の運用に関する研究
これまでのような普通乗用車用の駐車スペースの供給量を増やすことを主眼においた駐車政策から、既存の駐車スペースを有効活用するための駐車場の隔地・集約化に関する研究や、貨物自動車や自動二輪車用の駐車スペースを確保するための研究に取り組んでいます。
- ② 物流システムに関する研究
物流効率化のための施策として建物内共同配送に関す

る研究や、貨物車対策のためにビッグデータを活用し貨物車の動きを把握する研究を行っています。

- ③ 交通安全に関する研究
道路形状からみた交通事故対策の考え方や生活道路における道路ハンパ導入の効果に関する研究を行っています。
- ④ 自転車交通に関する研究
自転車通行空間整備のための自転車通行実態調査を実施することで、どのような形態の道路空間整備が自転車や歩行者さらには自動車にとって望ましいかを道路種別や交差点形態別に分析を行っています。
- ⑤ 災害時を考慮した都市交通計画に関する研究
災害時における支援助物資輸送のための道路交通計画に関する研究や東日本大震災時の交通信号機の被害状況を調査し早期復旧のための資機材のストック方法の検討を行っています。

●ゼミナール・テーマ

- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交通行動データ解析の基礎演習
- ・セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究、ゼミナール着手条件

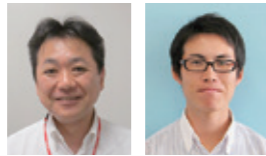
ロジスティクス概論・交通現象解析Ⅱを受講すること。



駐車場利用実態調査の様子

道路マネジメント 研究室

下川澄雄 教授
吉岡慶祐 助手



人口減少、少子高齢化社会が直面するなかで、今後ともくらし豊かな生活、効率的な都市機能を維持していくためには、中山間地域から大都市に至るまで、「コンパクト」+「ネットワーク」により、新たな活力の集積を図り、それらが重層的に重なる国土の形成を図る必要があります。

道路マネジメント研究室は、これらを実現すべく、道路を中心とする交通インフラの計画・設計から維持管理に至るプロセスの中で、今日的な課題や社会的な要請を抽出・整理し、新たな制度設計を提案していくことを研究の柱としています。そのため、研究の対象は、①道路ネットワークのあり方、②道路のサービス水準と道路の新たな計画設計論、③車両性能や交通特性と道路の構造との関わりなど、道路の機能・特性に関わる基礎的な研究から施策立案に関する行政的な応用研究といった広い領域を含むものです。

なお、本研究室では、他大学との合同ゼミ合宿をはじめとして外部との交流も盛んに行っています。

●卒業研究テーマ

- 道路の機能・階層を踏まえたサービス水準のあり方に関する研究
- 将来の拠点配置や交通特性を踏まえた道路ネットワークや道路空間の再編に関する研究

- 高速道路渋滞時の交通挙動と交通運用策に関する研究
- ラウンドアバウトの交通特性と道路構造に関する研究
- 性能照査型の道路計画設計論など

●ゼミナール・テーマ

小グループごとによるフィールドスタディを通じ、道路交通問題とその解決策を実践的に習得することを狙いとしています。また、グループディスカッションを通じ、とりまとめや説明能力の向上を目指します。平成30年度は、遠州鉄道線のバスプローブデータを用いピーク時間帯における時間信頼性について分析を行うとともに、渋滞のボトルネックを特定し、現地調査などを踏まえた渋滞の発生要因や対策案を議論しました。さらに、その成果をレポートとしてまとめました。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

道路工学および同演習、交通現象解析Ⅱを履修または履修予定であること。

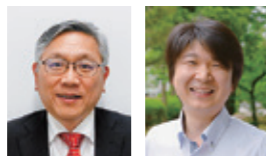
他大学との合同ゼミ合宿



ゼミナールでの成果発表

構造デザイン 研究室

鈴木 圭 教授
齊藤準平 准教授



構造デザイン研究室では、公共交通を支えるために重要となる交通基盤を研究対象として、構造工学や材料工学ならびに維持管理工学などの視点から研究を行っています。交通基盤の新たな建設、膨大な数の交通基盤の機能維持など、交通基盤を取り巻く諸問題は多く、その解決を目指したテーマを設定し研究に取り組んでいます。

研究室の活動について、3年生（ゼミナール）は、前期はコンクリートカーナー大会に出場するためにコンクリート製のカーナーの作製、後期は自由研究に勤めます（面白い実験が多いのが特徴です）。4年生と大学院生は、卒業研究・修士

ゼミ合宿（バーベキュー大会）
2018年9月 松本市コンクリートカーナー大会
（ゼミナール生）
2018年8月 戸田市彩湖

論文に勤しみ、その成果を外部の学会で積極的に発表いたします。さらに、ゼミ合宿、卒研中間発表会などの活動もあります。詳しくは、研究室ホームページ：<http://funda.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/> をご覧ください。

●卒業研究テーマ

- ◎歴史的コンクリート橋の維持・補修方法の検討（鈴木）
- ◎道頓堀に架かる歩道橋の構造デザイン（鈴木）
- ◎吉野川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する研究（鈴木）
- ◎交通荷重下における交通施設構造物の構造性能と耐久性評価（齊藤）
- ◎新材料により補修・補強された交通施設構造物の構造特性と耐久性評価（齊藤）
- ◎各種非破壊試験による交通施設構造物の性能評価（齊藤）

●ゼミナール・テーマ

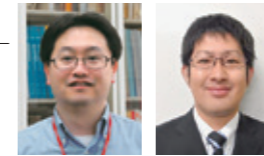
- ◎「得体の知れないコンクリート」を科学する！
- ◎コンクリート・モルタルを用いたカーナーの作製「コンクリートカーナー大会に出場！」
- ◎コンクリート・構造・環境などに係わる自由研究（基礎・応用実験調査etc.）「何かやってみる！」
- ◎その他、課外活動（建設現場見学、交通インフラ等の土木構造物や歴史遺産の訪ね歩き）

●卒業研究・ゼミナール着手条件

卒業研究は、コンクリートに関する材料・構造に関する科目（建設材料Ⅰ、コンクリート構造Ⅰ・Ⅱ、建設材料実験の4科目）を履修（卒研と同時に履修可）。ゼミナールはとくになし。

地盤工学 研究室

峯岸邦夫 教授
山中光一 助教



研究室構成は、大学院博士前期課程2年生が2名、前期課程1年生が1名、卒研（4年生）が13名、ゼミナール生（3年生）が14名の合計30名で、教員は峯岸教授、山中助教の2名体制で研究・教育を進めました。

当研究室では、交通施設（鉄道、道路、空港、港湾などに関連する施設）の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の舗装用に強化されたジオテキスタイル（土木用不織布）の耐久性および通水性能、ジオシンセティックスを立体的に組み立てて地盤内に敷設するジオセルの力学特性の把握ほかに、補強盛土工法の維持管理に関する研究等を行いました。これらの成果は、(公社)地盤工学会関東支部発表会や(公社)土木学会関東支部技術研究発表会において発表を行いました。



ゼミ合宿での集合写真（奥只見ダム）

表会や(公社)土木学会関東支部技術研究発表会において発表を行いました。

学生の動きとしては、昨年11月に地盤工学会関東支部主催のソイルストラクチャーコンテスト（与えられた地盤材料を用いてはりを作製し、曲げ強度を競うコンテスト）に学部生5名が参加しました。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と関東大学地盤研究室対抗ソフトボール大会に研究室全員で参加し、他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めることができました。

●卒業研究テーマ

- ①舗装用強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ②軽量化地盤材料による埋設物への土圧低減特性
- ③乱された関東ロームの力学特性
- ④路床の弾性係数に関する研究
- ⑤土系舗装の性能指標に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ①交通地盤工学（交通施設の地盤工学）とは？
- ②大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ③地盤構造物への新素材・新材料の利用技術
- ④地盤環境技術
- ⑤フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究・ゼミナール着手条件

卒業研究は地盤力学Ⅰ、Ⅱと地盤材料実験を履修（同時履修可）

TOPICS 交通システム工学科配置図

4F	交通工学・計画演習室1 745B室	交通工学・計画演習室2 745A室	運輸交通計画研究室 轟 教授 稲垣 助教 744室 内線5219	道路交通研究室 安井 准教授 兵頭 助教 743B室 内線5504	
3F	交通システム研究室 福田 教授 石坂 准教授 739室 内線5355	交通環境研究室 藤井 教授 伊東 准教授 738室 内線6476	交通環境演習室 737室	交通システム演習室 735室	
2F	交通システム工学科 事務室 伊藤・熊田・高梨 7214室 内線5239	交通輪講室 7213室	空間情報研究室 佐田 教授 江守 准教授 7212室 内線8147	交通計画研究室 小早川 教授 菊池 助手 7211室 内線5242	交通現象解析室 7210室
1F	道路マネジメント研究室 下川 教授 吉岡 助手 7111室 内線5503	構造デザイン研究室 鈴木 教授 齊藤 准教授 7110室 内線5241	交通施設・社会環境 演習室1 719室	交通施設・社会環境 演習室2 718室	地盤工学研究室 峯岸 教授 山中 助教 717室 内線5217

- 2号館：舗装・地盤実験室（201、202）……………内線5418
- 7号館：コンクリート・構造系実験室（704）……………内線5236
- 測量実習センター……………内線5322
- 社会基盤工学系実験 建設材料系……………内線5216
- 地盤・舗装材料系……………内線5584
- 駿河台校舎タワースコラ6階：交通システム工学科共通研究室（S611室）……………03-3259-0976

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX: 047-469-2581

平成30年度 修士論文・卒業研究

修士論文

住民協働型公共交通の推進を図る住民力の評価に関する研究
—千葉県君津市小糸・清和地区を対象として—

指導：藤井敬宏 教授飯村一樹

東日本大震災における被害調査に基づく交通信号施設の復旧
方策に関する研究

指導：小早川 悟 教授大西邦法

地域住民の交通行動パターンを考慮した地域連携型道路交通
安全対策の提案

—タイ・スパンブリー県の自治体を対象として—

指導：福田 敦 教授奥津健太

交通手段の観光魅力を考慮した観光ツアー選択のモデル分析
—水上飛行機の導入を想定して—

指導：轟 朝幸 教授小宮山春菜

応用都市経済モデルを用いた開発途上都市における都市・交
通政策の効果の推計に関する研究

指導：福田 敦 教授瀧川大樹

交通基盤整備による集積の効果の推計
—つくばエクスプレスを事例として—

指導：福田 敦 教授直井大地

道路の機能を考慮した大型車の乗用車換算係数に関する研究

指導：下川澄雄 教授中林 悠

複数路線が乗り入れるBRT駅の直列型ローディングエリアの
運用

—インド・アーメダバードをケーススタディーとして—

指導：石坂哲宏 准教授橋本諒平

保護者と子どもの横断判断特性に基づく生活道路における交
通安全教育に関する研究

指導：小早川 悟 教授府川阿佐美

ジオセル補強路盤の補強効果に及ぼす材料特性の影響度に関
する研究

指導：峯岸邦夫 教授谷口成樹

卒業研究

【 】は共同論文指導

■ 運輸交通計画研究室（轟 朝幸 教授・稲垣具志 助教） ……

ビジネス航空の利用意識に関する分析
—日米比較および利用意図形成要因の分析—坂本大輝

Random Forest法によるバス遅延要因を考慮した到着時刻の
精度向上の検討寺田 敦

航空重大事故統計データ解析に基づくリスク要因の特定
深谷健太

羽田空港の容量制約緩和時における国内線配分の優先順位の
検討小俣龍太

沖縄県八重山列島における水上飛行機導入時の運航形態の検討
千代 茜

クルーズ客船船社における発着港選択の要因分析富田裕介
新東京客船ターミナルの整備に伴う東京港・横浜港間のクル
ーズ客船の誘致競合分析西脇雅人

成田国際空港における滑走路閉鎖時間の短縮が航空機遅延に
もたらす効果分析福島大樹

航空機のハンドリング業務におけるGSE車両の必要台数の検討
—成田国際空港を対象として—河原田洸太

GSE駐車スペースの実態把握と算定基準の検討中島 翔

豪州の先進的なエコツーリズム認定制度に基づいた日豪のエ
コツアーの比較分析

指導：伊東英幸 准教授大塚 純

乱れた関東ロームのCBRに及ぼす生石灰添加率の影響に関す
る研究

指導：峯岸邦夫 教授岡田貴行

バンコクの都市鉄道駅周辺の歩行環境の評価と改善案の検討

指導：福田 敦 教授小澤弘典

都市間高速道路における渋滞発生時の交通現象に関する研究

指導：下川澄雄 教授酒井克典

SBW北海道大雪・富良野ルートの観光期における観光客の回
遊行動分析および経済価値の推計

指導：伊東英幸 准教授田平将大

東南アジアの中規模都市における住民のTODに対する受容性
に関する研究

—ベトナム・ダナンを対象として—

指導：石坂哲宏 准教授中川康也

羽田空港の容量制約撤廃による首都圏地方間旅客の利用者便
益に関する分析

指導：轟 朝幸 教授西園知哉

個人特性に着目した無信号交差点における高齢ドライバーの
安全確認行動に関する研究

指導：小早川 悟 教授原田憲武

VSPモデルを用いた燃料消費量推計への道路勾配の適用

指導：石坂哲宏 准教授峰岬達也

国道44号を対象としたエゾシカと自動車の事故対策による外
部費用削減効果の推計

指導：伊東英幸 准教授鷲尾朋紀

■ 道路交通研究室（安井一彦 准教授・兵頭 知 助教） ……

都市部の幹線道路同士の交差点における自転車事故リスクと
交通暴露量の関係小林敬一

都市高速道路における経年的な交通容量変動と交通事故リス
クの関連性についての一考察豊崎翔太

オーダードプロビットモデルを用いた積雪寒冷地における交
通事故深刻度リスク要因分析長谷川兼太

積雪寒冷地における常時感知器データを用いた日交通量変動
特性に関する研究笹本悠真

横断歩道橋の利用率の影響要因に関する研究
—静岡県をケーススタディとして—岡田航平

交通規制用保安施設の安全性に関する研究
—ステイコンを対象として—濱野康平

信号交差点の横断歩道における年齢別歩行者挙動に関する研究
大平錬矢、塩月峻太

T字路交差点における車両挙動別の一時停止挙動の研究
白倉 優

免許取得から1年以内に起こす事故に関する研究奥山飛鳥

信号交差点における交通量と信号無視に関する研究
熊倉貴志

信号交差点における自転車の通行実態に関する研究
木元耀大

各都道府県警ホームページにおける交通事故データの公開状
況に関する研究中山智彰

交差点の夜間制御切り替え前後の交通挙動及び夜間の押ボタ
ン利用実態に関する研究石毛大靖

■ 交通システム研究室（福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授） …

画像解析による自動二輪車とオートリキシャの検知に関する
研究三宅航大

オートリキシャが混在する円形交差点におけるマイクロ交通シ
ミュレーションによる交通状態の再現神 巧磨

インド・アーメダバードにおける公共交通端末手段としての
オートリキシャの利用実態分析藤原大地

ハノイにおけるオートバイを利用したP&BRの利用実態分析
—YEN NGHIA駅を対象として—畠山侅穂

バンコク都心部におけるBluetoothデータを用いたリンク交
通特性の分析伊藤 潤

タイ・バンコクにおけるモノレール建設に伴う車線数減少に
よる交通混雑への影響及び緩和策の評価渡邊壯太

成田空港地域における交通課題報告アプリにより抽出された
交差点に関する改善案の検討

—マイクロ交通シミュレーションに評価— 砂塚知希【石田東生】

VRを用いた鉄道駅周辺におけるウォーカビリティ評価方法
の検討坂井瑞樹

タイにおけるマルチパーパスモビリティ導入可能性調査評価
生嶋杏菜

タイの交通事故死亡者数による事故発生要因の統計分析
田中佑次朗

スマートフォンアプリケーションを用いた路面損傷特定のため
の実証的分析方法の検討三浦健志

ジオテクスタイルの敷設箇所を選定に向けたプローブデータ
による局所的走行状態の把握小西修平

道路勾配データを適用したVSPモデルによる燃料消費量の分析
鈴木 耀

アーメダバードの商業地・住宅地におけるPM2.5の空間的広
がり と 時間変動の把握入江達也

応用都市経済モデルによるマナグア市における交通システム
及び土地利用に対する改善策の評価釘井里紗子

生産関数アプローチを用いた交通基盤整備の経済効果の計測
大和田勝紀

■ 交通環境研究室（藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授） ……

バリアフリーハンドブックの類型化に基づく市原市の心のバ
リアフリーの新たな展開方法齋藤 望

車いす利用者のイベントへの参加および仮設型多機能トイレ
の利用意向の分析積治隼人

立地適正化計画の策定自治体における都市機能誘導区域の比
較分析石井響太

テキストマイニングを用いた地域公共交通網形成計画の比較
評価

—関東地方の計画策定都市を対象として—桃井勇輔

日報記録を用いた地方都市におけるタクシーの利用特性
—静岡県伊東市のタクシーを対象として—兼古翔太

千葉縣市川市の住民提案型コミュニティバスの計画立案に関
する研究中村 翼

住民協働型公共交通の推進に関する研究
—地区別住民協働意識の差に着目して—星野遼太

市津デマンドタクシーの維持・継続に向けた運用方策の検討
原 拓海

ソーシャル・キャピタル概念を用いた住民協働型公共交通の
実施可能性の検討

—千葉県君津市小糸・清和地区を対象として—伊藤 諒

住民主体のボランティア送迎の維持継続に向けた運行課題の
抽出—静岡県裾野市千福が丘地区を対象として—森 翔太

ユニバーサルデザインタクシーの導入意向に関する研究
—千葉県の一般タクシー事業者および介護タクシー事業者を
対象として—福田捷樹

中山間地域住民の日常生活における交通手段選択モデルの構築
—福島県三島町を対象として—工藤大地

SBW北海道大雪・富良野ルートの観光期における観光客の回
遊行動および主要観光地の分析平田 真

エコロジカル・フットプリントに基づく環境教育アプリケー
ションの開発

—千葉県船橋市民を対象として—原井美穂

国道44号の糸魚沢アーチカルバートにおけるエゾシカの利用
実態分析山崎敦史

エゾシカと車両の事故多発路線を対象とした事故発生件数推
計モデルの構築鈴木絢人

国道44号を対象としたエゾシカと自動車の事故による外部費
用の推計畠中 幹

米国カリフォルニア州におけるミュールジカと車両の衝突事
故による負傷レベルに影響する要因の分析櫻井雅教

豪州ビクトリア州における動物と車両の衝突事故による乗員
の負傷レベルに影響する要因の分析畑山 喬

分別再材料化技術を用いたアスファルト舗装のライフサイク
ルアセスメント関口恵生

■ 空間情報研究室（佐田達典 教授・江守 央 准教授） ……

SfMを用いた構造物モデリングにおける全方位カメラの効率
的な撮影手法の検討瀬戸山竜二

移動体測位における衛星測位可視化ツールを用いた衛星選択
による測位精度向上手法に関する研究齋藤拓実

道路区画線を対象とした機械学習による3次元点群データの
自動抽出に関する研究齋藤幹貴

MMSのレーザスキャナ性能と計測精度との関係に関する基礎
的研究藤村大輔

GPSにGalileoとQZSSを併用した高精度衛星測位の精度検証
對馬和希

高精度衛星測位におけるGalileoの特性に関する研究
宇野敬太

各種の電波遮蔽環境下における複数の衛星系を組み合わせた
測位の特性に関する研究太田康貴

準天頂衛星によるセンチメートル級測位補強サービスの精度検証
永田大輝

GPSキネマティック測位における4機の準天頂衛星システム
の併用方法に関する実証的研究天野遼太

BeiDouの衛星配置と測位精度の関係に関する研究前田大稀

3次元レーザースキャナーを用いた計測の再現性に関する研究
王子 馨

簡易版近隣歩行環境評価法 (ANEWS) を活用した新しいみちづくり
 ー国分寺街道を対象としてー 那須幹也

VRを用いた景観分析に適した撮影速度の解析 吉田大輔

広域渋谷圏における小規模店舗のバリアフリー実態と整備意欲
 大久保 維

加速度センサを利用した水上飛行機の運行支援アプリケーションの開発に関する実験 小口雅功

360度バーチャルツアーを用いたクルーズ船のバリアフリー調査
 小野直樹

VRを活用したバリアチェックの可能性に関する研究
 山下みなみ

都心部における子ども達にとっての防災ランドマークに関する研究
 飯尾修麻

機械学習を用いた避難者把握に向けたUAVからの撮影条件に関する研究
 佐藤 瑠

■ **交通計画研究室** (小早川 悟 教授) ……………

駐車場の集約化のための既存駐車場の利用実態分析
 ー神戸市下山手通り周辺を対象としてー 櫻井和輝

道路交通規制が観光バスの路上駐車行動に与える影響に関する研究
 吉田 航

無料の貨物車用路上駐車施設の利用実態に関する研究
 周 友梨

自転車ナビマークが自転車通行と路上駐車車両に与える影響に関する研究
 八木俊成

交差点での矢羽方路型面表示設置が車道通行自転車および自転車の通行位置に与える影響分析
 木下航記

ニュータウンを対象にした自転車通行空間の整備に関する研究
 長濱拓生

防災船着場に着目した避難所までのアクセス性に関する研究
 ー東京都荒川区を対象としてー 植竹紘也

荷さばき駐車スペース数の算定のための建物内共同配送の補正係数に関する研究
 澁沢 愛

双方向通行の生活道路におけるハンプの導入効果に関する研究
 岡田雅広

ビデオ映像を用いた交通事故危険事象の抽出に関する研究
 大熊悠太

■ **道路マネジメント研究室** (下川澄雄 教授) ……………

飽和交通流率の変動と占有時間・車間時間の関係に関する分析
 三串知広【森田緯之】

車間時間に着目した飽和交通流率の低下要因に関する分析
 五十嵐一馬【森田緯之】

右左折専用車線における大型車の乗用車換算係数に関する研究
 箭竹翔太

右折専用車線における右折車のギャップアクセプタンスと交通容量に関する分析
 井岡拓也

交差点での遅れ時間を考慮した立体交差点が有利となる交通条件の分析
 真岩優多

地方都市における環状道路の速度サービス水準に関する一考察
 佐々木 椋

都市間連絡におけるインターアクセスの速度サービスの実態に関する分析
 鈴木龍一

ボトルネック上流における渋滞巻き込まれ時間が交通容量に与える影響分析
 齋藤義政

Deflection Angleを用いた既存ラウンドアバウトの幾何構造評価
 多田 伸

交差点における自転車の並走が自動車の直進交通流に与える影響分析
 長田 顕

■ **構造デザイン研究室** (鈴木 圭 教授・齊藤準平 助教) ………

ひび割れを有するRC床版の塩分浸透特性
 ー融雪水の流出方向が塩分濃度分布に与える影響ー 江森紀仁

プレストレス導入状態下のコンクリートはりにおける塩分浸透特性に関する基礎的研究
 ー塩水浸せき試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目してー 加藤凌也

繰り返し荷重下のコンクリートにおける塩分浸透特性に関する実験的研究
 ー塩水浸せき試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目してー 森本 慶、渡部拓大

プレストレス導入状態下のコンクリートにおける実効拡散係数に関する実験的研究
 ー電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目してー 手島敏史

繰り返し荷重下のコンクリートにおける実効拡散係数に関する実験的研究
 ー電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目してー 浅見公一

衝撃弾性波法による損傷度評価の実構造物への適用可能性に関する基礎的研究
 大野航平

PVA繊維補強コンクリートの加熱後の曲げ挙動に関する基礎的研究
 伊東和輝、北島豊徳

ポーラスコンクリートの衝撃吸収に関する基礎的研究
 鈴木直登、高野将成

隅田川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する研究
 石崎裕大、榎森 至

■ **地盤工学研究室** (筆岸邦夫 教授・山中光一 助教) ……………

埋戻し材として用いた発泡ビーズ混入軽量化土の動的荷重下における挙動
 関 里美

短繊維を混合した石灰安定処理土の膨張抑制効果および力学特性
 渡邊翔太

面状不織布を混合した地盤材料の力学特性
 高木和哉

竹チップ混合土の締固め特性に及ぼす竹チップ混入率の影響
 伊藤勇太

路面のすべり摩擦に及ぼす路面プロファイルとタイヤの接地面積の影響
 三橋朋弥

路面性能と弾力性に着目した歩行者系舗装における性能指標の関係性
 杉浦佑基

乱れの状態を変えた関東ロームのCBRに及ぼす石灰添加率の影響
 大山祥生

砂質路床土の強度・変形特性に及ぼす地盤条件の影響
 益子萌夏

平板載荷試験と小型FWD試験から得られるK値に及ぼす載荷板直径の影響
 田鍋佑太郎

盛土内の排水材として用いたジオシンセティックスの敷設間隔に関する検討
 関根 碧

補強土壁の壁面変位および背面盛土の支持力に及ぼす地下水の影響
 橋本 凌

ジオセル補強地盤の支持力特性および応力低減効果に及ぼすジオセル表面摩擦の影響
 笛木光太郎

軟弱路床に用いる不織布の耐久性評価方法の検討 玉田莉奈

平成30年度 教員・研究員の研究・活動 2018. 4. 1~2019. 3. 31

研究業績 2018. 4. 1~2019. 3. 31

掲載誌・出版元	題目・作品名・書名	教員名など	発表年月
運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・稲垣具志 助教)			
■著書			
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-700	これからの道路交通政策 ー非幹線道路の道路・交通管理から考えるー	高田邦道 (編著) 小早川 悟 稲垣具志 ほか	18年4月
彰国社	3・11 復興プロジェクトの挑戦とその射程 建築・土木、エネルギーの融合の活動から	伊澤 岬 小林直明 轟 朝幸	18年12月
■審査論文			
Simulation Modelling Practice and Theory (Volume 87) pp.395-411	Calibrating a social force based model for simulating personal mobility vehicles and pedestrian mixed traffic	Charitha Dias, Miho Iryo-Asano, Hiroaki Nishiuchi, Tomoyuki Todoroki	18年8月
Public Transport (Planning and Operations 巻 12469号) pp.1-19	Impact analysis of reductions in tram services in rural areas in Japan using smart card data	Hiroaki Nishiuchi, Yasuyuki Kobayashi, Tomoyuki Todoroki, Tomoya Kawasaki	18年8月
(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集 pp.143-149	ドライブレコーダデータに基づく高齢ドライバーの急減速特性 に関する基礎的考察	稲垣具志 原田憲武 柏 祐樹 竹平誠治 小早川 悟	18年8月
International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018	Simulating Interactions between Pedestrians, Segway Riders and Cyclists in Shared Spaces using Social Force Model	Charitha Dias, Hiroaki Nishiuchi, Satoshi Hyoudou, Tomoyuki Todoroki	18年8月
International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018	An analysis of risk factors for rear-ender accident on urban expressway considering accident severity	Satoshi Hyodo, Tomoyuki Todoroki	18年8月
(株)ANA総合研究所 ていくおふ (153巻) pp.56-65	水上機による地方創生ネットワーク構想 ー3.11復興・オリンピック後の新たな社会システムの構築をめ ざして	伊澤 岬 轟 朝幸 江守 央 小林直明 桐島弘之 畔柳昭雄 加藤毅三	18年10月
Transportation Research Procedia, Vol.34, pp.91-98	Simulating Interactions between Pedestrians, Segway Riders and Cyclists in Shared Spaces Using Social Force Model	Charitha Dias, Hiroaki Nishiuchi, Satoshi Hyoudou, Tomoyuki Todoroki	18年12月
Transportation Research Procedia, Vol.34, pp.203-210	An Analysis of Risk Factors for Rear-Ender Accident on Urban Expressway Considering Accident Severity	Satoshi Hyodo, Tomoyuki Todoroki	18年12月
国際交通安全学会誌 (43巻 2号) pp.28-35	水上飛行機の活用による離島交通インノベーション	轟 朝幸	18年10月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (74巻 5号) I_799-I_807	クルーズ客船観光の初回利用時に着目した認知・検討・利用の 態度変容分析	川崎智也 井口賢人 兵頭 知 轟 朝幸	19年1月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (74巻 5号) I_1237-I_1246	事故の重大性に着目した都市高速道路における追突事故発生リ スク要因分析	兵頭 知 吉井稔雄 轟 朝幸	19年1月
土木学会論文集D3 (土木計画学) (74巻 5号) I_1349-I_1359	生活道路における保護者による子どもの道路横断判断教育の可 能性と課題	稲垣具志 小早川 悟 府川阿佐美 寺内義典	19年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (5巻 2号) A_208-A_216	ドライブレコーダデータに基づく高齢ドライバーの運転行動と 個人特性に関する基礎分析	稲垣具志 原田憲武 柏 祐樹 竹平誠治 小早川 悟	19年2月
■口頭発表			
(一社)日本福祉のまちづくり学会 中国四国支部講演会	住民・当事者参加の事例 ー地区交通安全と空港ユニバーサルデザインの現場からー	稲垣具志	18年5月
(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会	航空事故リスク信頼区間の推定に関する研究	兵頭 知 轟 朝幸 川島拓也	18年6月
AHFE 2018 International Conference on Human Factors in Transportation	Verification of Blinking LED Block Installed at Crosswalk Entrance for Low-Vision People	Shoichiro FUJISAWA, Tomohiro OKADA, Daiki KIHARA, Hideaki NAGAHAMA, Tomoyuki INAGAKI, Norihito IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Kiyohito TAKEUCHI, Hiroshi OGINO, Shin-ichi ITO, Katsuya SATO, Osamu SUEDA	18年7月

(一社)日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会	歩行誘導の視点から考える道路の路面表示	稲垣具志	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	歩行者と自転車の混在を考慮したセグウェイ挙動の分析	伊藤 聡 轟 朝幸 兵頭 知 西内裕晶	18年9月
(公社)土木学会 第58回土木計画学研究発表会	表情に着目した高齢ドライバーの運転行動特性に関する研究	若林勇真 小嶋 文 稲垣具志 久保田 尚	18年11月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会 視覚・聴覚・触覚に関する応用編連続セミナー	歩行誘導の視点から考える道路の路面表示の活用	稲垣具志	18年12月
(公社)計測自動制御学会 第19回システムインテグレーション部門講演会	弱視者のための点滅するLEDブロックの検証実験	藤澤正一郎 伊藤伸一 清山幹弘 佐藤克也 稲垣具志 池田典弘 竹内聖人 萩野 弘 高橋和哉 末田 統	18年12月
(公社)土木学会 第58回土木計画学研究発表会	羽田空港の容量制約による首都圏地方間旅客の利用者便益損失分析	西園知哉 轟 朝幸 稲垣具志	18年11月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	交通手段の観光魅力を考慮した観光ツアー選択モデルの構築—水上飛行機に着目して—	小宮山春菜 轟 朝幸 稲垣具志	19年3月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	個人特性に着目した無信号生活道路交差点における高齢ドライバーの安全確認行動に関する基礎的考察	原田憲武 稲垣具志 柏 祐樹 竹平誠治 小早川 悟	19年3月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

フジテレビ めざましテレビ	「公道を爆走」で批判殺到・電動一輪車…相次ぐトラブル	稲垣具志	18年4月
フジテレビ プライムニュースイブニングPRIMEワイド	危険な電動一輪車	稲垣具志	18年4月
日本経済新聞	危ない！ 公道で電動一輪車 原則は走行禁止	稲垣具志	18年4月
(一社)日本自動車工業会 Motorcycle Information	埼玉県「三ない運動」見直しへ！ 検討委員会が新指導要項を提言	稲垣具志	18年4月
All About NEWS	3ない運動って正しいの？ 埼玉県教育委員会に現状を聞いてみた	稲垣具志	18年4月
読売新聞	高校生バイク制限見直し	稲垣具志	18年5月
朝日新聞	バイク「三ない」見直しへ 高校生への安全教育にシフト	稲垣具志	18年5月
読売新聞	フォーラム「外環道・千葉区間開通のインパクトを考える」	轟 朝幸	18年6月
本田技研工業株 Hondaの交通安全情報紙The Safety Japan	埼玉県における「三ない運動」の見直しと今後の指導のあり方に関する議論をリード	稲垣具志	18年6月
(一財)みなと総合研究所 水上飛行機システム研究会報告書	THE SEAPLANES 水上飛行機システム導入ガイドブック	水上飛行機システム研究会 (轟 朝幸分担執筆)	18年6月
日本経済新聞	電源設備水没で館内放送送えず 関西国際空港	轟 朝幸	18年9月
読売新聞	高齢者・子ども連れ・障害者…災害時に並べない人も…避難、物資配布にルール必要	轟 朝幸	18年12月
日刊建設工業新聞	震災の教訓を次の都市づくりへ	伊澤 岬 轟 朝幸	18年12月
毎日新聞	消えゆく一灯式信号機 ルール分かりづらく	稲垣具志	18年12月
日本経済新聞	埼玉県「バイク3ない」見直し リスク教育重み増す	稲垣具志	19年3月

道路交通研究室（安井一彦 准教授・兵頭 知 助教）

■審査論文			
(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集	自動車運転支援のための道路区画線の更新周期に関する研究	安井一彦 兵頭 知 小野拓海 池田隆博	18年8月
International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018	An Analysis of Attentional Disengagement Effect on Driver's Cognition of Road Gradient at Sag Sections	Hirotohi Shirayanagi, Toshio Yoshii, Satoshi Hyodo	18年8月
International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018	Simulating Interactions between Pedestrians, Segway Riders and Cyclists in Shared Spaces using Social Force Model	Charitha Dias, Hiroaki Nishiuchi, Satoshi Hyoudou, Tomoyuki Todoroki	18年8月
International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018	An analysis of risk factors for rear-ender accident on urban expressway considering accident severity	Satoshi Hyodo, Tomoyuki Todoroki	18年8月
Transportation Research Procedia, Vol.34, pp.44-50	An analysis of attentional disengagement effect on driver's cognition of road gradient at sag sections	Hirotohi Shirayanagi, Toshio Yoshii, Satoshi Hyodo	18年12月
Transportation Research Procedia, Vol.34, pp.91-98	Simulating Interactions between Pedestrians, Segway Riders and Cyclists in Shared Spaces Using Social Force Model	Charitha Dias, Hiroaki Nishiuchi, Satoshi Hyoudo, Tomoyuki Todoroki	18年12月
Transportation Research Procedia, Vol.34, pp.203-210	An Analysis of Risk Factors for Rear-ender Accident on Urban Expressway Considering Accident Severity	Satoshi Hyodo, Tomoyuki Todoroki	18年12月

(公社)土木学会 土木学会論文集D3（土木計画学） (74巻5号) I_799-I_807	クルーズ客船観光の初回利用時に着目した認知・検討・利用の態度変容分析	川崎智也 井口賢人 兵頭 知 轟 朝幸	19年1月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3（土木計画学） (74巻5号) I_1237-I_1246	事故の重大性に着目した都市高速道路における追突事故発生リスク要因分析	兵頭 知 吉井稔雄 轟 朝幸	19年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集（5巻2号） A_267-A_274	折れ線回帰モデルを用いた道路区画線の舗装更新周期の推定に関する研究	兵頭 知 安井一彦 小野拓海 池田隆博	19年2月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会	航空事故リスク信頼区間の推定に関する研究	兵頭 知 轟 朝幸 川島拓也	18年6月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	歩行者と自転車の混在を考慮したセグウェイ挙動の分析	伊藤 聡 轟 朝幸 兵頭 知 西内裕晶	18年9月
日本交通学会 第77回研究報告会	成田国際空港におけるパードストライクリスク要因分析	兵頭 知 轟 朝幸	18年10月
CSIS DAYS 2018 研究アブストラクト集	多様な観測データを用いた事故の重大性に着目した都市高速道路における追突事故発生リスク要因分析	兵頭 知 轟 朝幸	18年11月
(公社)土木学会 第58回土木計画学研究発表会	クルーズ客船利用意図形成機構の利用経験別分析	川崎智也 山口高矩 兵頭 知 轟 朝幸	18年11月
ITARDAセンター向け講演会	道路交通空間における事故リスク分析およびその応用について	兵頭 知	19年1月

交通システム研究室（福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授）

■審査論文			
The 36th International Conference of the System Dynamics	Modelling and Simulation of Adaptaion Measures for Flood Events on Land Use and Transportation Fields: The Case of Khon Kaen Area, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Noriyasu TSUMITA	18年8月
Journal of Traffic and Transportation Engineering, Volume 6, Number 3, pp.121-133	Optimal Link Tolls for Multi-node and Multi-link Transportation Networks Taking into Account the Welfare Cost of Fund Procurement	Hidegori IKESHITA, Atsushi FUKUDA	18年5-6月
Case Studies on Transport Policy	Hedonic Pricing Model of Assessed and Market Land Values: A Case Study in Bangkok Metropolitan Area, Thailand	Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN, Vasinee WASUNTARASOO	18年9月
International Symposium on Lowland Technology 2018	Dynamic Simulation of Adaptation Policy for Flood Impacts on Urban Activities: A Case Study of Khon Kaen, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Noriyasu TSUMITA, Taiki TAKIGAWA	18年9月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会	タイ・バンコク首都圏の都市鉄道駅周辺での端末交通の利用実態に関する研究	小澤弘典 福田 敦 Sathita MALAITHAM 沼 義人	18年6月
(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会	バンコクの都市鉄道沿線における地域開発の実態と課題	Sathita MALAITHAM 福田 敦 Varameth VICHENSAN 小澤弘典	18年6月
JSD Conference 2018	交通・土地利用に着目した洪水の影響への適応策の評価—タイ・コンケン市を対象として—	積田典泰 菊池浩紀 福田 敦	18年6月
Honda Y-E-S Forum 2018	Analyzing the effect of variation of intersection delays on total travel time in Bus Rapid Transit Systems	Ryohei HASHIMOTO, Anand KAKARLA	18年7月
The 23rd National Convention on Civil Engineering	Breadth First Search Graph to Recover Missing link from Bluetooth data	Piyapong SUWANNO, Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi FUKUDA	18年7月
The 11th ATRANS ANNUAL CONFERENCE	Analysis of Park and Ride Usage in Bangkok Metropolitan Region — Case of Adjacent Area Along Purple Line —	Hiroto NUMA, Hironori OZAWA, Malitham SATHITHA, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN, Thawatchai KONGSUWAN	18年8月
The 11th ATRANS ANNUAL CONFERENCE	Estimation of Disaster Damage Cost by Urban Flood and Impacts of Adaptaion Policies — The Case Study of Khon Kaen, Thailand —	Noriyasu TSUMITA, Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA	18年8月
The 11th ATRANS ANNUAL CONFERENCE	Reliability of Breadth First Search finding missing link of Bluetooth data collection: Case study Bangkok, Thailand	Rattanaporn KASEMSRI, Piyapong SUWANNO, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA, Sorawit NARUPITTI	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	乗合タクシーをアクセス交通に考慮した際の交通手段選択に関する基礎的研究	石坂哲宏 高橋文哉	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	インド・アーメダバードにおけるBRTSの走行特性・遅れに関する分析	橋本諒平 石坂哲宏 福田 敦 Anand KAKARLA	18年8月

日本環境共生学会 第21回(2018年度) 創立20周年記念学術大会(研究発表大会)	都市洪水に対する適応策の評価に関する研究 —タイ・コンケン市における被害の推定に基づいて—	積田典泰 菊池浩紀 福田 敦	18年9月
第62回日本大学理工学部学術講演会	キャンパス内における公共交通の現状把握と私的から公共交通に転換するための提案	飯沼 巧 鈴木悠介 土井悠輔 御代川 岳 大手駿平 塚田幸佑 古川泰地 三木田龍一 宮津駿一郎 吉岡瑞貴 福田 敦 石坂哲宏	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	コンケン大学内ラウンドアバウトにおける速度抑制策	石田翔平 石渡佑介 徳山太一 藤枝和津 福田 敦 石坂哲宏 積田典泰 沼 義人	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	公共交通利用促進に向けたトランジットモールの提案 —タイ・コンケン、LRT導入地域を対象として—	岡部航平 會田康太郎 正木寛士 御代川 岳 植松健太郎 福田 敦 石坂哲宏 積田典泰	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	都市洪水による被害額の推定 —タイ・コンケン市における地価式の推定に基づいて—	瀧川大樹 菊池浩紀 積田典泰 福田 敦	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	タイ・コンケン市におけるLRTと国道2号線の平面交差点の交通影響に関する分析	土井悠輔 石井達也 勝俣昂文 田代大智 空閑 香 福田 敦 石坂哲宏 積田典泰	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	タイ・コンケン市におけるアンダーパス設置後の交通事故実態分析	森 千鶴 周 兆絲 孫 斯琦 松野下翔 鎌田大智 鳥海航太 福田 敦 石坂哲宏 沼 義人	18年12月
The 23rd HKSTS International Conference	Applicability of the Multi-hierarchy network under demand uncertainty by using Ellipsoidal uncertainty set in Robust optimization: Bangkok, Thailand	Rattanaporn KASEMSRI, Kazushi SANO, Atsushi FUKUDA, Amila Buddhika JAYASINGHE	18年12月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	タイ・スパンブリー県自治体を対象とした地域連携型交通安全対策の提案	奥津健太 福田 敦 小早川 悟	19年3月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	都市洪水に対する適応策導入による被害額削減の評価 —タイ・コンケン市における地価式の推定に基づいて—	瀧川大樹 菊池浩紀 積田典泰 福田 敦	19年3月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	東南アジアの中規模都市におけるTODの受容性に関する考察	中川康也 石坂哲宏 福田 敦 Van Truong Nguyen	19年3月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	道路勾配を考慮したVSPモデルによる燃料消費量推計	峰岸達也 石坂哲宏 福田 敦	19年3月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)	特集「近代日本を創った精神を知る—明治150年—」企画趣旨	石坂哲宏	18年8月
日本環境共生学会 環境共生 Vol.33	環境共生学会 地域シンポジウム 「持続可能な社会の実現に向けた実践と課題」報告	福田 敦 伊東英幸 菊池浩紀	18年9月
(公社)土木学会 土木学会誌 Vol.104, No.1	特集「土木における多様な教育手法が目指す先—情報教育やアクティブラーニングの重要性—」企画趣旨・座談会	石坂哲宏	19年1月

(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	シーニックバイウェイを構成する観光要素の評価 —「シーニックバイウェイ北海道」を例として—	田平将大 伊東英幸 藤井敬宏	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	国道44号におけるエゾシカのロードキル発生要因分析	鷺尾朋紀 田辺弘太 藤井敬宏 伊東英幸	18年8月
The 12th Asia Impact Assessment Conference	Comparative Analysis of Efforts for Environment Conservation by Travel Companies on Ecotour with Accommodation between Japan and Australia	Jun OTSUKA, Hideyuki ITO, Takahiro FUJII	18年8月
The 12th Asia Impact Assessment Conference	Analysis of Factors to Cause Hokkaido Sika Deer-Vehicle Collisions — Case Study of National Route 44—	Tomoki WASHIO, Hideyuki ITO, Takahiro FUJII	18年8月
日本環境共生学会 第21回(2018年度) 創立20周年記念学術大会(研究発表大会)	高齢者を対象とした改良版近隣歩行環境評価(ANEWS)を用いた分析 —千葉県習志野台団地を対象として—	塚原勇介 伊東英幸 藤井敬宏	18年9月
環境アセスメント学会 第17回大会	日豪の宿泊付きエコツアーにおける事業者のエコツアーリズムへの取り組みに関する比較分析	大塚 純 伊東英幸 藤井敬宏	18年9月
環境アセスメント学会 第17回大会	エゾシカと自動車の衝突事故の発生要因分析	鷺尾朋紀 伊東英幸 藤井敬宏	18年9月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	公共交通不便地域における住民協働を目指した公共交通整備に関する研究	飯村一樹 藤井敬宏 樋口恵一	19年3月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)	環境共生学会 地域シンポジウム 「持続可能な社会の実現に向けた実践と課題」報告	福田 敦 伊東英幸 菊池浩紀	18年9月
日本環境共生学会 環境共生 Vol.33	「気づき」と「行動」に基づいた「心のバリアフリー」のスパイラルアップ化 —千葉県市原市の取り組み—	藤井敬宏	18年12月
環境アセスメント学会 環境アセスメント学会誌 Vol.17, No.1	環境アセスメント学会 セッション2 「政策、制度②」報告	梶谷 修 伊東英幸	19年2月

空間情報研究室(佐田達典 教授・江守 央 准教授)

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集(29巻) pp.107-117	GPS搬送波位相測位におけるGPS受信衛星数と準天頂衛星の併用効果との関係に関する実証的研究	佐田達典 伊藤 登 江守 央	18年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集(29巻) pp.119-128	Galileoによる衛星測位の特性に関する研究	江守 央 榎方洗貴 佐田達典	18年7月
The 15th International Conference on Mobility and Transport for Elderly and Disabled Persons(5B.1巻)	Indoor Mobile Mapping System for Evaluating Signage Visibility.	Hisashi Emori, Tatsunori Sada, Kosuke Ota	18年11月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	MMSを用いた3次元点群データにおけるサイン評価への適応可能性の検討	太田耕介 江守 央 佐田達典	19年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	3機の準天頂軌道のみちびきを併用したGPSキネマティック測位の精度特性に関する研究	天野遼太 佐田達典 江守 央	19年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	屋内型MMSを用いた世界測地系に基づく点群データによる屋内空間の3次元モデル作成	奈良部昌紀 佐田達典 江守 央	19年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	3D都市モデルを用いた衛星の可視性評価に基づく衛星選択による測位精度向上手法	江守 央 佐田達典	19年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	QZSSの機数と仰角に応じたGPS・QZSS測位の精度変化検証	中島和希 佐田達典 江守 央	19年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3(土木情報学)(74巻2号)	舗装工事を対象とした地上型レーザースカナーの計測精度に関する検証実験	樋口智明 佐田達典 江守 央 村山盛行 福森秀晃	19年3月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会	3次元点群データを用いた車いす使用者におけるサインの視認性評価 —地下改札外コンコースを対象として—	太田耕介 江守 央 佐田達典	18年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会	VR映像を用いたバリアチェック手法に関する研究	江守 央 佐田達典	18年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会	歩行者移動支援サービス実現のための屋内型MMSを用いた3次元位置形状計測	奈良部昌紀 江守 央 佐田達典	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	3次元点群データを用いた地下空間におけるサインシステムの視認性評価	太田耕介 江守 央 佐田達典	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	出来形管理に適用するためのGPSとQZSSの使用条件に関する検討	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	準天頂衛星の増加に伴うGPS測位の精度変化の検証	中島和希 佐田達典 江守 央	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	歩行者用三次元地図整備のための屋内型MMSを用いた形状計測	奈良部昌紀 佐田達典 江守 央	18年8月

(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	地上型レーザースキャナーの計測精度に関する研究	樋口智明 江守 央 福森秀晃	佐田達典 村山盛行	18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会	地上レーザスキャナによる点群データの精度検証	福森秀晃 樋口智明 江守 央	佐田達典 村山盛行	18年8月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	3機の準天頂衛星を併用したGPSキネマティック測位の精度特性に関する研究	天野遼太 江守 央	佐田達典	18年9月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	3D都市モデルを用いた衛星の可視性評価に基づく衛星選択による測位精度向上手法	江守 央	佐田達典	18年9月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	MMSを用いた3次元点群データにおけるサイン評価への適応可能性検討	太田耕介 佐田達典	江守 央	18年9月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	QZSSの仰角に応じたGPS・QZSS測位の精度変化検証	中島和希 江守 央	佐田達典	18年9月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	歩行者の屋内移動支援における点群データを用いた特徴点抽出と3次元モデルの作成	奈良部昌紀 江守 央	佐田達典	18年9月
(公社)土木学会 第43回土木情報学シンポジウム	舗装工事を対象とした地上型レーザースキャナーの計測精度に関する研究	樋口智明 江守 央	佐田達典	18年9月
高精度衛星測位サービス利用促進協議会 第6回測位情報利用加速WG	CLAS実証実験成果報告 ～受信機；三菱電機 AQLOC～と補完効果実験報告	佐田達典		18年9月
(一社)測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2018研究発表会	4機の準天頂衛星システムを併用したGPSキネマティック測位の精度特性に関する研究	天野遼太 江守 央	佐田達典	18年11月
(一社)測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2018 ビギナーズセッション	高精度衛星測位におけるGalileoの特性に関する研究	宇野敬太 江守 央	佐田達典	18年10月
(一社)測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2018 ビギナーズセッション	準天頂衛星によるセンチメートル級測位補強サービスに関する実験	永田大輝 江守 央	佐田達典	18年10月
第62回日本大学理工学部学術講演会	複数の準天頂衛星を併用することによる測位精度の向上効果に関する研究	天野遼太 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	都心部における子ども達にとっての防災ランドマークについての研究	飯尾修麻 佐田達典	江守 央	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	高精度衛星測位におけるGalileoの特性に関する研究	宇野敬太 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	地上型レーザースキャナーを用いた計測の再現性に関する研究	王子 馨 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	3次元点群データを用いた地下空間における壁型サインの視認性について	太田耕介 佐田達典	江守 央	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	加速度センサを利用した水上飛行機の運行支援に向けた精度検証に関する研究	小口雅功 佐田達典	江守 央	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	QZSSの仰角に着目したGPS・QZSS測位の精度変化検証	中島和希 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	屋内ナビゲーションのための点群データを用いた形状計測と3次元モデルの作成	奈良部昌紀 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	機械学習を用いた3次元点群データの属性付与に関する研究—道路区画線を対象として—	齋藤幹貴 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	GPSにGalileoとQZSSを併用した高精度衛星測位の特性に関する研究	對馬和希 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	ANews (近隣歩行環境評価法)を活用した新しいまちづくり：国分寺街道周辺を対象として	那須幹也 佐田達典	江守 央	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	舗装工事における地上型レーザースキャナーの計測精度に関する研究	樋口智明 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	BeiDouの衛星配置と測位精度の関係に関する研究	前田大稀 江守 央	佐田達典	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	VRを用いて景観分析に適した撮影速度の調査と解析に関する研究	吉田大輔 佐田達典	江守 央	18年12月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)				
(公社)日本測量協会 測量(68巻4号)pp.6-7	巻頭言：準天頂衛星システム「みちびき」への期待	佐田達典		18年4月

交通計画研究室(小早川 悟 教授・菊池浩紀 助手)

■著書

(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズA-700	これからの道路交通政策 —非幹線道路の道路・交通管理から考える—	高田邦道(編著) 小早川 悟 菊池浩紀 ほか		18年4月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズA-728 丸善出版	東京都市圏における端末物流実態の都市間比較分析	小早川 悟(編著)		18年11月
自由国民社	平面交差の計画と設計 基礎編 第1編第1章	交通工学研究会 平面交差の計画・設計・ 制御の研究グループ		18年11月
	現代用語の基礎知識2019年版「運輸交通」	小早川 悟 高田邦道 ほか		19年1月

■審査論文

(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集 pp.143-149	ドライブレコーダデータに基づく高齢ドライバーの急減速特性に関する基礎的考察	稲垣具志 柏 祐樹 小早川 悟	原田憲武 竹平誠治	18年8月
(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集 (一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集	時間制限駐車区間に異なる運用方法が存在する場合の路上駐車実態の分析 大規模地震時における道路閉塞要因を考慮した避難所への救援物資配送に関する研究	関 陽一 小早川 悟		18年8月
Proceeding of the 36th International Conference of the System Dynamics	Modelling and Simulation of Adaptaion Measures for Flood Events on Land Use and Transportation Fields: The Case of Khon Kaen Area, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Noriyasu TSUMITA		18年8月
Proceeding of International Symposium on Lowland Technology 2018	Dynamic Simulation of Adaptation Policy for Flood Impacts on Urban Activities: A Case Study of Khon Kaen, Thailand	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Noriyasu TSUMITA, Taiki TAKIGAWA		18年9月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学) (74巻5号)I_1349-I_1359	生活道路における保護者による子どもの道路横断判断教育の可能性と課題	稲垣具志 小早川 悟 府川阿佐美 寺内義典		19年1月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集(5巻2号) A_208-A_216	ドライブレコーダデータに基づく高齢ドライバーの運転行動と個人特性に関する基礎分析	稲垣具志 原田憲武 柏 祐樹 竹平誠治 小早川 悟		19年2月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集(5巻2号) A_193-A_198	時間制限駐車区間の運用方法が路上駐車実態に与える影響分析	関 陽一 小早川 悟		19年2月
■口頭発表 JSD Conference 2018	交通・土地利用に着目した洪水の影響への適応策の評価—タイ・コンケン市を対象として—	積田典泰 菊池浩紀 福田 敦		18年6月
The 11th ATRANS Annual Conference	Estimation of Disaster Damage Cost by Urban Flood and Impacts of Adaptaion Policies —The Case Study of Khon Kaen, Thailand—	Noriyasu TSUMITA, Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA		18年8月
(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会 日本環境共生学会 第21回(2018年度) 創立20周年記念学術大会(研究発表大会) 第62回日本大学理工学部学術講演会	東日本大震災にみる交通信号施設復旧方法の問題点 都市洪水に対する適応策の評価に関する研究 —タイ・コンケン市における被害の推定に基づいて—	大西邦法 高田邦道 積田典泰 菊池浩紀 福田 敦		18年8月
	住民・行政・大学が連携した交通安全対策の検討	岡田和也 石井達也 小泉圭汰 五十嵐千帆 佐野 瞳 横 恭吾 小早川 悟	小池和喜隆 岩崎哲也 泉水勇人 石井和成 瀬川大貴 松村一輝	18年12月
第62回日本大学理工学部学術講演会	都市洪水による被害額の推定 —タイ・コンケン市における地価式の推定に基づいて—	瀧川大樹 積田典泰 福田 敦	菊池浩紀	18年12月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	個人特性に着目した無信号生活道路交差点における高齢ドライバーの安全確認行動に関する基礎的考察	原田憲武 稲垣具志 柏 祐樹 竹平誠治 小早川 悟		19年3月
(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 (公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 (公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会	東日本大震災での交通信号施設被害に基づく施設被害関数による資機材ストック量推定指標に関する研究 タイ・スパンブリー県自治体を対象とした地域連携型交通安全対策の提案 都市洪水に対する適応策導入による被害額削減の評価 —タイ・コンケン市における地価式の推定に基づいて— 貨物車のビッグデータを用いた貨物車集中地区の土地利用分析	大西邦法 高田邦道 奥津健太 福田 敦 小早川 悟 瀧川大樹 菊池浩紀 積田典泰、福田 敦 鳥居祐乃介 小早川 悟 菊池浩紀		19年3月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)				
日本経済新聞(夕刊)	違法駐車対策 物流への配慮も必要	小早川 悟		18年8月21日
ライジング出版 Bicycle 21 vol.179, pp.63-70	自転車走行路の整備	小早川 悟 正田 智 栗村 修 菊池津根徳		18年8月
ライジング出版 Bicycle City Vol.51, pp.45-50	自転車走行路の整備・拡充	小早川 悟 正田 智 栗村 修 菊池津根徳		18年9月
日本環境共生学会 環境共生 Vol.33	環境共生学会 地域シンポジウム 「持続可能な社会の実現に向けた実践と課題」報告	福田 敦 伊東英幸 菊池浩紀		18年9月
京都新聞	高速道路、なぜ事前規制できない？	小早川 悟		18年9月28日
日本交通政策研究会 自動車交通研究—環境と政策—2018 pp.20-21	端末物流実態の都市間比較分析	小早川 悟		18年10月
サイカパーキング(株) パーキングプレス No.105, Vol.685, pp.44-45	シェアサイクル利用のルールとマナー	小早川 悟		18年12月

道路マネジメント研究室 (下川澄雄 教授・吉岡慶祐 助手)

■著書
 日刊工業新聞社 トコトンやさしい道路の本 第1章 第2章 pp.17-20 第3章 峯岸邦夫 (編著) 下川澄雄 山中光一 18年10月

■審査論文
 Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies(12巻) 1783-1796 An Analysis on Impact of Roundabout Geometric Elements on Driving Behavior Keisuke YOSHIOKA, Hideki NAKAMURA, Sumio SHIMOKAWA, Hirohisa MORITA 18年4月

(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集 道路の交通機能を考慮した大型車の乗用車換算係数に関する研究 中林 悠 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年8月

(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会論文集 リスク指標を用いたラウンドアバウト幾何構造の安全性性能評価 吉岡慶祐 中村英樹 下川澄雄 森田緯之 18年8月

(公社)土木学会 土木学会論文集D3 (土木計画学) (74巻5号) I_1037-I_1046 海外のラウンドアバウト安全性性能評価方法の我が国への適用性 吉岡慶祐 中村英樹 下川澄雄 森田緯之 19年1月

(一社)交通工学研究会 交通工学研究会論文集 (5巻2号) A_48-A_55 道路の階層と交通特性を踏まえた大型車の乗用車換算係数に関する研究 青山恵里 中林 悠 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 19年2月

■口頭発表
 (公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会 都市間高速道路における渋滞発生時の交通現象に関する分析 酒井典克 下川澄雄 吉岡慶祐 18年6月

(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会 転回路付き緩車線を用いた新たな交通運用策に関する研究 茂木翔平 下川澄雄 森田緯之 吉岡慶祐 山中光一 18年6月

(公社)土木学会 第57回土木計画学研究発表会 ラウンドアバウトの安全性性能評価のためのリスク指標の提案 吉岡慶祐 中村英樹 下川澄雄 森田緯之 18年6月

(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会 道路の交通機能を考慮した大型車の乗用車換算係数に関する研究 中林 悠 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年8月

(一社)交通工学研究会 第38回交通工学研究発表会 リスク指標を用いたラウンドアバウト幾何構造の安全性性能評価 吉岡慶祐 中村英樹 下川澄雄 森田緯之 18年8月

(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会 信号交差点における飽和交通流率の基本値の経年変化に関する研究 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年9月

(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会 道路の交通機能を考慮した大型車の乗用車換算係数の比較分析 中林 悠 下川澄雄 吉岡慶祐 18年9月

(公社)土木学会 第58回土木計画学研究発表会 信号交差点における飽和交通流率算出にあたっての課題 一日米独比較をふまえた考察 青山恵里 吉岡慶祐 森田緯之 18年11月

(公社)土木学会 第58回土木計画学研究発表会 都道府県を形成する都市間連絡のための目標旅行時間に関する研究 齊藤浅里 下川澄雄 吉岡慶祐 花房比佐友 18年11月

第62回日本大学理工学部学術講演会 右折専用車線における右折車のギャップアクセプタンスと交通容量に関する分析 井岡拓也 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年12月

第62回日本大学理工学部学術講演会 運転者属性に着目した飽和交通流率の経年的な変動要因の考察 五十嵐一馬 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年12月

第62回日本大学理工学部学術講演会 飽和交通流率の変動と占有時間・車間時間の分析 三串知広 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 18年12月

第62回日本大学理工学部学術講演会 右折専用車線における大型車の乗用車換算係数に関する研究 箭竹翔汰 中林 悠 下川澄雄 吉岡慶祐 18年12月

98th Transportation Research Board Annual Meeting Evaluating Safety Performance of Roundabout Geometry Through Crash Risk Index Keisuke YOSHIOKA, Hideki NAKAMURA, Sumio SHIMOKAWA, Hirohisa MORITA 19年1月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 車間時間に着目した飽和交通流率の低下要因に関する分析 五十嵐一馬 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 ボトルネック上流における渋滞巻き込まれ時間が交通容量に与える影響分析 齋藤義政 下川澄雄 吉岡慶祐 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 交差点での遅れ時間を考慮した立体交差点が有利となる交通条件の分析 真岩優多 下川澄雄 吉岡慶祐 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 飽和交通流率の変動と占有時間・車間時間の関係に関する分析 三串知広 青山恵里 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 右左折専用車線における大型車の乗用車換算係数に関する研究 箭竹翔汰 中林 悠 下川澄雄 吉岡慶祐 19年3月

構造デザイン研究室 (鈴木 圭 教授・齊藤準平 助教)

■審査論文
 (公社)コンクリート工学会 コンクリート工学会年次論文集 (40巻) pp.705-710 PRCはり下縁におけるプレストレスと荷重作用による応力付与の繰り返しコンクリートの塩分浸透特性に及ぼす影響 齊藤準平 18年7月

(公社)プレストレスコンクリート工学会 第27回プレストレスコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集 pp.253-258 繰返し圧縮応力付与に伴うコンクリートのひずみ分布と塩分濃度分布 齊藤準平 18年11月

■口頭発表
 (公社)土木学会 第38回土木史研究発表会 吉野川に架かる橋梁を対象とした高校生の興味促進に関する研究 鈴木 圭 新保孝太 堺 康造 18年6月

(公社)土木学会 平成30年度全国大会第73回年次学術講演会 第62回日本大学理工学部学術講演会 圧縮応力付与時のコンクリートのひずみ分布に及ぼす減摩材厚の影響 齊藤準平 18年8月

第62回日本大学理工学部学術講演会 PRC 道路橋のプレストレス導入状態における塩分浸透特性における実験的研究 浅見公一 手島敏史 加藤凌也 齊藤準平 18年12月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 第62回日本大学理工学部学術講演会 一電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して一 ひび割れを有するRC部材の塩分浸透特性 江森紀仁 渡部拓大 森本 慶 齊藤準平 18年12月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 一貫通ひび割れへの塩水流下における塩分濃度分布一 プレストレス導入状態下のコンクリートにおける実効拡散係数に関する実験的研究 浅見公一 手島敏史 加藤凌也 齊藤準平 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 一電気泳動試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して一 PVA繊維補強コンクリートの加熱後の曲げ挙動に関する基礎的研究 北島豊徳 伊東和輝 大野航平 齊藤準平 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 ポーラスコンクリートの衝撃吸収に関する基礎的研究 高野将成 鈴木直登 大野航平 齊藤準平 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 繰返し荷重下のコンクリートにおける塩分浸透特性に関する実験的研究 渡部拓大 森本 慶 江森紀仁 齊藤準平 19年3月

一塩水浸せき試験によるはり下縁部からの塩分浸透に着目して一

地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教)

■著書
 日刊工業新聞社 トコトンやさしい道路の本 峯岸邦夫 (編著) 下川澄雄 山中光一 18年10月

■審査論文
 Proceedings of the 11th International Conference on Geosynthetics A Study on reduction of base course thickness by stress dispersion effects and strength and deformation characteristics of geocell reinforced base course Kohichi YAMANAKA, Kunio MINEGISHI, Shigeki YAGUCHI, Tomoya ITO 18年9月

(公社)地盤工学会 第61回地盤工学シンポジウム論文集 乱れた関東ロームの一軸圧縮強さとCBRおよび微視的構造に及ぼす影響 岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗 18年12月

■口頭発表
 (公社)地盤工学会 第53回地盤工学研究発表会 関東ロームの物理的性質と一軸圧縮強さおよびCBRに及ぼす乱れの影響 岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗 18年7月

(公社)地盤工学会 第53回地盤工学研究発表会 埋設管の埋戻し材として用いた発泡ビーズ混入軽量化土の力学特性および応力低減効果 谷口成樹 山中光一 峯岸邦夫 18年7月

(公社)地盤工学会 第53回地盤工学研究発表会 舗装材として用いた竹チップ混合土の性能指標に及ぼす経過日数の影響 山中光一 峯岸邦夫 番場裕治 18年7月

(公社)土木学会 平成30年度第73回年次学術講演会 表面強化不織布の耐久性に及ぼす路盤状態の影響 峯岸邦夫 山中光一 小野寺貴史 黄 亮 柳沼宏始 矢谷卓巳 18年8月

(公社)地盤工学会 第15回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2018) 乱れの状態を考慮した関東ロームの一軸圧縮強さおよびCBR 大山祥生 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗 岡田貴行 18年11月

(公社)地盤工学会 第15回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2018) 乱れた関東ロームが一軸圧縮強さおよび微視的構造に及ぼす影響 岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 大山祥生 18年11月

(公社)地盤工学会 第15回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2018) 面状不織布を混合した地盤材料の力学特性 高木和哉 峯岸邦夫 山中光一 18年11月

(公社)地盤工学会 第15回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2018) ジオセル補強地盤の補強効果に及ぼす壁面摩擦の影響 谷口成樹 峯岸邦夫 山中光一 18年11月

(公社)地盤工学会 第15回地盤工学会関東支部発表会 (GeoKanto2018) 関東ロームを用いた短繊維混合補強土の強度特性に及ぼす繰返し載荷の影響 矢谷卓巳 峯岸邦夫 山中光一 18年11月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 乱れの状態を変えた関東ロームの力学的特性に及ぼす石灰添加率の影響 大山祥生 峯岸邦夫 山中光一 岡田貴行 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 関東ロームの乱れが微視的構造およびCBRに及ぼす影響 岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 大山祥生 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 歩行者系舗装における弾力性と各路面性能の関係性に関する一考察 杉浦佑基 山中光一 峯岸邦夫 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 埋設管の埋戻し材として用いた発泡ビーズ混入軽量化土の動的荷重下における応力低減効果 関 里美 山中光一 峯岸邦夫 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 歩行者系舗装の弾力性および衝撃吸収性に及ぼす路盤支持力の影響 田鍋佑太郎 山中光一 峯岸邦夫 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 展開面積を考慮したジオセル補強地盤の適用性に関する研究 谷口成樹 峯岸邦夫 山中光一 19年3月

(公社)土木学会 第46回関東支部技術研究発表会 短繊維を混合した石灰安定処理土の膨張抑制効果および強度・変形特性 渡邊翔太 峯岸邦夫 山中光一 19年3月

社会的活動

2018. 4. 1～2019. 3. 31

■小早川 悟 教授

(公社)日本交通政策研究会 路上の時間制限駐車区画の運用方法に関する研究 プロジェクトリーダー

(公社)日本交通政策研究会 これからの道路交通政策 委員

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 第1学術小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学論文賞技術賞選考委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計計算ソフト小委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 平面信号委員会 委員

(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員

(一社)交通工学研究会 千葉県国道版道路監査委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究 委員

(一社)交通工学研究会 日本型道路交通安全監査 委員

(一社)交通工学研究会 自転車通行システムの整序化 委員

(一社)土木学会 土木計画学研究委員会 ITS とインフラ・地域・まちづくり研究小委員会 副委員長

(一社)日本シェアサイクル協会 顧問

(公財)国際交通安全学会 東南アジアにおける情報共有型交通安全対策スキームの実施支援 特別研究員

(公財)国際交通安全学会 インド小規模都市群における地域に根ざした計画・デザインの提言と社会実装の取り組み 特別研究員

(一財)国土技術研究センター 最近の交通問題と道路サービス(新道路研究会) 委員

システムダイナミクス学会日本支部 副会長

国土交通省都市局 大規模マニュアル改訂の準備委員会 委員

警察庁 科学警察研究所 特別研究員

警察庁交通部 観光バス駐車対策分科会 会長

千葉県 大規模小売店舗立地審議会 委員

港区 駐車場地域ルール策定協議会 会長

立川市 市政アドバイザー

立川市 立川ターミナル連絡会 座長

袖ヶ浦市 都市計画マスタープラン策定協議会 副会長

大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 会長

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事

(公社)土木学会 土木情報学委員会 副委員長

(公社)土木学会 土木情報学委員会 土木工事におけるGNSSの活用研究小委員会 副小委員長

(公社)土木学会 国土・土木とAI懇談会 委員

(公社)日本測量協会 電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会 会長

(公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画事業委員会 委員

(一財)日本建設情報総合センター 理事

国土交通省国土地理院 測量行政懇談会 委員

国土交通省国土地理院 PRISM 運営委員会 委員長

国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員

国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省関東地方整備局 第14期建設技術展示館審査委員会 委員

QBIC～QSS連携(地図分野) 準天頂衛星利活用推進会議 座長

QBIC～QSS連携(土木・建設分野) 準天頂衛星利活用推進会議 有識者

高精度衛星測位サービス利用促進協議会 アドバイザー

■下川澄雄 教授

(一社)交通工学研究会 技術顧問

(一社)交通工学研究会 査読委員

(一社)交通工学研究会 基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 委員長

(一社)交通工学研究会 基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ ガイドラインフォローアップWG 委員

(一社)交通工学研究会 基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 交通状態量に関する検討WG 委員

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 委員

静岡県 美しい“ふじのくに”インフラビジョン推進会議 委員

静岡県 浜名湖観光圏インフラネットワークワーキング 委員

静岡県 ラウンドアバウト検討委員会 委員

静岡県、浜松市、湖西市 浜名湖地域振興・減災協議会 会長

千葉県 舗装維持管理計画検討委員会 委員長

浜名湖地域舟運都市構想研究会 委員

■鈴木 圭 教授

(公社)土木学会 土木史研究委員会 委員

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 委員

(一社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 出版委員会 副委員長

(一社)交通工学研究会 新規出版企画小委員会 委員長

国土交通省 交通政策審議会航空分科会 臨時委員

国土交通省航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省航空局 全国主要空港における大規模自然災害対策に関する検討委員会 委員

国土交通省東京航空局 総合評価委員会 委員

国土交通省関東運輸局 地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会 委員

千葉県 国土利用計画地方審議会 委員

千葉県 県土整備公共事業評価審議会 委員長

千葉県 入札監視委員会 委員

千葉県 建設工事総合評価 委員

千葉県 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する検証小委員会 委員長

葛飾区 公共交通網構築に関する調査検討委員会 委員(座長)

葛飾区 入札監視等委員会 委員

青梅市 公共交通活性化協議会 委員(議長)

千葉県 千葉県産業用地整備支援事業審査会 委員

鎌ヶ谷市 建設工事総合評価 委員

鎌ヶ谷市 鎌ヶ谷市企業誘致推進協議会 委員

松戸市 建設工事総合評価 委員

松戸市 松戸駅周辺まちづくり委員会 委員

船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員

佐倉市 地域公共交通活性化協議会 委員

山武市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)

木更津市 地域公共交通活性化協議会 委員(会長)

大網白里町 地域公共交通活性化協議会 委員(会長)

八街市 地域公共交通協議会 委員(副会長)

旭市 地域公共交通協議会 委員

館山市 地域公共交通会議 委員(議長)

栄町 公共交通会議 委員

三郷市 地域公共交通活性化協議会 委員

竹富町 港湾・漁港施設等利活用計画策定委員会 委員

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 国際センター プロジェクトグループ インフラ国際貢献・国際協力アーカイブスWG 代表

(一社)交通工学研究会 理事

(一社)計画交通研究会 海外インフラプロジェクト特別懇談会 座長

(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 理事

(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 認定・事業委員会 委員

(一社)日本私立大学連盟 FD推進ワークショップ運営委員会 委員

(一社)海外運輸協力協会 アドバイザー

(一社)海外鉄道技術協力協会 KISS-RAIL改定委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 「人」委員会 委員

(独法)国際協力機構 バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定(M-MAP2)に係る情報収集・確認調査 アドバイザー

(独法)国際協力機構 調査名：移動弱者ゼロの未来型都市におけるパーソナルモビリティ (PM) 案件化調査【中小企業海外展開支援事業～案件化調査～】 アドバイザー

EASTS-Japan 理事

システムダイナミクス学会日本支部 顧問

日本環境共生学会 副会長・関東支部長・理事

Asia Transportation Research Society, Honorable Advisor

国土交通省 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省 タイ交通安全対策検討委員会 副委員長

国土交通省 国土交通政策研究所 インフラ・都市海外展開戦略フォーラム メンバー

千葉県 都市計画審議会 委員

千葉県 高度地区アドバイザー

八千代市 都市計画審議会 委員

君津市 久留里地区都市再生整備計画 評価委員

■藤井敬宏 教授

国土交通省関東運輸局 千葉県バリアフリーネットワーク会議 座長

国土交通省中部運輸局 地域交通マネージャー

静岡県 岳南都市圏総合都市交通計画協議会 副会長

静岡県 未来創造まちづくり構想会議 委員

品川区 長期基本計画策定委員会 参事

港区 公共駐車場指定管理者選考委員会 委員長

港区 バリアフリー推進協議会 会長

港区 自転車等駐車場指定管理者選考委員会 委員長

武蔵村山市 地域公共交通会議 会長

我孫子市 地域公共交通協議会 委員

我孫子市 都市計画審議会 会長

市川市 公共交通協議会 バス交通分科会 委員

市川市 公共交通協議会 会長

市川市 公共交通調査 専門委員

市川市 総合計画審議会 会長

市川市 都市計画審議会 副会長

君津市 地域公共交通アドバイザー

君津市 地域公共交通会議 委員

市原市 バリアフリー推進協議会 会長

市原市 公共交通の地域協議会 アドバイザー

市原市 総合計画審議会 会長

市原市 総合評価方式による入札評価 委員

市原市 地域公共交通会議 座長

市原市 都市再生協議会 委員

市原市 福祉有償運送運営協議会 委員

柏市 柏駅前交通広場等基本構想調整会議 委員長

柏市 地域公共交通活性化協議会 会長

東金市 都市計画審議会 委員

東金市 総合交通計画策定協議会 委員

習志野市 福祉有償運送運営協議会 会長

富津市 地域公共交通会議 委員

船橋市 地球温暖化協議会 会長

船橋市 地球環境審議会 委員

船橋市 都市計画審議会 委員

茂原市 地域公共交通会議 委員

八千代市 総合計画審議会 委員

八千代市 公共交通会議 副会長

伊豆の国市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通会議 委員

裾野市 総合計画等評価委員会 会長

裾野市 地域公共交通活性化協議会 委員

裾野市 都市計画審議会 会長

富士宮市 市民懇話会 座長

富士宮市 大富士中学校区周辺地区事後評価委員会 座長

富士宮市 地域公共交通会議 委員

富士宮市 都市計画審議会 会長

三島市 地域公共交通網形成協議会 委員

伊勢原市 地域公共交通会議 会長

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 幹事長

(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 幹事

(公社)土木学会 技術功労賞選考委員会 副委員長
(公社)土木学会 教育企画部門 教育企画・人材育成委員会 幹事
(公社)地盤工学会 学会創立70周年記念事業実行委員会 委員
(公社)地盤工学会 第54回地盤工学研究発表会実行委員会 財務・総務部会 副部長
(公社)地盤工学会 関東支部 幹事長
(公社)地盤工学会 関東支部 表彰委員会 委員
(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会 委員
(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事
(一財)日本技術者教育認定機構 基準委員会 委員
(一財)日本技術者教育認定機構 基準総合調整委員会 委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事
国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長
国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員
国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会 委員長
国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員
国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 総合評価審査分科会 委員
船橋市 一般競争入札総合評価 学識委員

■石坂哲宏 准教授

(公社)土木学会 土木学会誌編集委員会 委員
(公社)土木学会 土木計画学委員会 学術小委員会 委員
(公社)土木学会 学術交流基金管理委員会 委員
(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事
(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員
(一社)交通工学研究会 学術委員会 委員
(独法)都市再生機構 工事中交通マネジメント研究ワーキング委員会
システムダイナミックス学会日本支部 理事
Eastern Asia Society for Transportation Studies, International Scientific Committee, Committee Member

■伊東英幸 准教授

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事
環境アセスメント学会 企画委員会小冊子WG 委員
環境アセスメント学会 生態系研究部会 委員
環境アセスメント学会 若手研究会 幹事
環境アセスメント学会 学術委員会 委員
システムダイナミックス学会日本支部 理事(事務局長)
日本環境共生学会 ワークショップ「地域からグローバルな視点で考える私たちのミライ! ―カードゲームとレゴ®ブロックで持続可能な開発目標(SDGs)を考えよう―」事務局長
日本環境共生学会 第21回(2018年度)地域シンポジウム 実行副委員長
道路生態研究会 メンバー
なごや生物多様性保全活動協議会 委員
岐阜大学 地域科学部地域政策学科 非常勤講師
山梨県 環境影響評価等技術審議会 委員

■江守 央 准教授

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 委員長
(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 事務局長
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 アクセシブルルートの検討に係る当事者団体とアクセシビリティ協議会事務局による意見交換会 委員
(一財)みなと総合研究財団 水上飛行機システム研究会 委員
大田区 移動円滑化推進協議会 副会長
渋谷区 バリアフリー推進協議会 副会長
渋谷区 バリアフリー推進協議会 区民部会 副部長
豊島区 バリアフリー推進協議会 副会長
三鷹市 バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長
鎌ヶ谷市 福祉有償運送運営協議会 会長
八千代市 福祉有償運送運営協議会 会長
国分寺市 国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり協議会 副会長

■安井一彦 准教授

(一社)交通工学研究会 交通工学研究発表会 査読委員
(一社)交通工学研究会 首都高速道路交通安全対策検討会 委員
千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員
千葉県 国道464号千葉NT地区交通対策検討会議 議長
千葉県 環境審議会 委員

■稲垣具志 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 学術小委員会 委員
(公社)土木学会 出版委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 子育てしやすい子どもにやさしいまちづくり研究小委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小委員会 幹事
(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 ITSとインフラ・地域・まちづくり小委員会 委員
(公社)日本都市計画学会 総務・企画委員会 委員
(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員
(一社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改訂小委員会 委員
(一社)交通工学研究会 自転車通行システムの整序化研究グループ 委員
(一社)交通工学研究会 生活道路に関する検討小委員会 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 代議員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 総務委員会 委員長
(一社)日本福祉のまちづくり学会 会誌委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 関東甲信越支部 幹事
(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会 委員
(一社)日本福祉のまちづくり学会 住民参画・社会環境特別研究委員会 幹事

(一社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト これからの道路交通政策―運輸管理から考える― 委員

(一社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 路上の時

間制限駐車区画の運用方法に関する研究 委員
(一社)日本交通科学学会 評議員
国土交通省航空局 みんなが使いやすい空港旅客施設計画資料改定に関する検討委員会 委員
観光庁 ユニバーサルツーリズム促進事業審査・評価委員会 委員
東京都 福祉のまちづくり推進協議会 副会長
東京都 福祉のまちづくり推進協議会専門部会 副会長
東京都 自転車安全利用指導員業務委託技術審査委員会 特別委員
埼玉県教育委員会 高校生の交通安全講習実施体制検討会議 委員

千代田区 地域福祉交通「風ぐるま」運行協議会 副会長
世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会 委員
世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会第3部会(道路、公園、公共交通関連) 部長
世田谷区 自転車等駐車対策協議会 委員
世田谷区 区立自転車等駐車場指定管理者選定委員会 委員
武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員
武蔵野市 バリアフリーネットワーク会議 副会長
立川市 交通結節推進協議会 副会長
西東京市 地域公共交通会議 副会長
鎌倉市 交通計画検討委員会 委員
鎌倉市 交通計画検討委員会専門部会 委員
埼玉県南部地区福祉有償運送3市共同運営協議会 会長
二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー
二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員
二子玉川通り名検討委員会 委員長
成田国際空港(株) 成田空港ユニバーサルデザイン分科会 委員

■齊藤準平 助教

(公社)土木学会 総務部会 技術功労賞選考委員会 幹事長
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査
(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事

■兵頭 知 助教

(一社)交通工学研究会 自主研究「交通事故リスクマネジメントに関する研究」 委員

(一財)みなと総合研究財団 水上飛行機システム研究会 委員
新潟都市圏交通事故リスクマネジメント研究会 委員

ISTS & IWTDCS, International Symposium of Transport Simulation & International Workshop on Traffic Data Collection and its Standardization 2018 (ISTS&IWTDCS 2018), Local Organizing Committee

学外学術活動

■小早川 悟 教授

講師：平成30年度東京都安全運転管理者講習「交通安全対策と道路交通計画」／東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2018.4.23 (以降、銀座プロッサム 2018.4.26／オリンパスホール八王子 2018.5.31／なかのZERO 2018.6.21／大田区民ホールアブリコ 2018.7.5／なかのZERO 2018.7.19

■山中光一 助教

(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装工学論文集編集小委員会 委員
(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 委員
(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 路床路盤分科会 委員
(公社)土木学会 土木技術者推進機構 土木技術者資格委員会 2級土木技術者資格小委員会 分野別委員会 委員
(公社)土木学会 関東支部 広報部会 幹事
(公社)土木学会 関東支部 学術研究部会 幹事
(公社)土木学会 国際部門 国際センター 情報グループ 情報グループ幹事会 委員
(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会 幹事
(公社)地盤工学会 地盤工学会誌編集委員会 委員
(公社)地盤工学会 関東支部 支部発表会グループ 県連絡委員
(公社)地盤工学会 関東支部 会員サービスグループ 幹事
(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技術情報誌 編集委員会 委員
(NPO)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 小型FWD検証分科会 委員
(NPO)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 委員
(NPO)舗装診断研究会 舗装構造評価委員会 委員
千葉県 舗装維持管理計画検討委員会 委員

■菊池浩紀 助手

(公財)国際交通安全学会 インド小規模都市群における地域に根ざした計画・デザインの提言と社会実装の取り組み 特別研究員

システムダイナミックス学会日本支部 幹事

日本環境共生学会 第21回(2018年度)地域シンポジウム 実行委員

■吉岡慶祐 助手

(一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ ガイドライン・フォローアップWG 委員

(一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ 交通状態量に関する検討WG 委員

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 委員(幹事)

(一社)交通工学研究会 資格委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計 計算ソフト検討作業部会 委員

	2018. 4. 1～2019. 3. 31
--	------------------------

／なかのZERO 2018.11.2／在原文化センター 2018.11.5／昭島市民会館 2018.11.29／銀座プロッサム 2018.12.6)

パネリスト：BICYCLE CITY EXPO 2018「自転車走行路の整備・拡充」／BICYCLE CITY EXPO 2018実行委員会(運営事務局：ライジング出版)／東京ドームシティ・プリズムホール 2018.5.30

パネリスト：道路交通安全診断シンポジウム／(一社)交通工学研究会／日本大学理工学部駿河台校舎121室2018.7.27

司会：土木計画学研究発表会「交通安全(2)」／土木学会土木計画学研究委員会／大分大学 2018.11.25

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」“Parking Management”／国際協力機構／JICA 東京2018.12.3

講師：平成30年度道路マネジメント研修「物流と道路マネジメント」／国土交通省／国土交通大学校 2018.10.25

講師：日本大学理工学部図書館公開講座「身近な道路の交通安全」／日本大学理工学部／日本大学理工学部 CST ホール 2018.12.10

講師：出張講義「自転車を活用した交通まちづくり」／二松学舎大付属柏高校／二松学舎大付属柏高校 2018.12.14

■佐田達典 教授

講演：国土・土木と AI 懇談会成果報告シンポジウム／大学における ICT・センシング教育の例／(公社)土木学会／土木学会館 2018.5.24

特別講演：第23回中国地区測量技術講演会／測量・計測技術の進展と地理空間情報の活用／「測量の日」中国地区連絡協議会／広島県民文化センター 2018.6.26

開会挨拶：応用測量技術研究発表会／(公社)日本測量協会／全水道会館 2018.7.31

パネラー：平成30年度全国大会研究討論会「準天頂衛星がみちびく土木・測位の未来」／(公社)土木学会／北海道大学 2018.8.29

座長：GPS/GNSS シンポジウム2018研究発表会「研究発表セッションⅠ：GNSS による高精度測位」／(一社)測位航法学会／東京海洋大学 2018.11.1

■下川澄雄 教授

オーガナイザ：第57回土木計画学研究発表会(春大会)企画セッション「道路の階層区分を考慮した交通性能照査手法の提案」／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／東京工業大学 2018.6.9

講師：平成30年度道路設計演習「道路の計画設計の現状と今後の展望」／(一財)全国建設研修センター／全国建設研修センター 2018.7.17

ファシリテーター・講演：ミニシンポジウム「階層型道路ネットワークの実現に向けて」／(一社)交通工学研究会／新潟県庁講堂 2018.12.14

コメンテーター：第58回土木計画学研究発表会「優秀論文発表セッション」／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／大分大学 2018.11.24

■轟 朝幸 教授

パネリスト：フォーラム「外環道・千葉県区間開通のインパクトを考える」／読売新聞社／千代田区 2018.5.28

講演：国際自動車コンプレックス研究会 講題「海と空を活かした地方創生—水上飛行機の可能性」／国際自動車コンプレックス研究会／豊橋市 2018.8.9

講演：第53回海洋教育フォーラム in 千葉 演題「海と空を活かした地方創生—水上飛行機の可能性」／日本船舶海洋工学会／船橋市 2019.3.2

■福田 敦 教授

講演：「交通管制のための交通状況と交通需要の推定技術」第3回都都セミナー／東北大学大学院情報科学研究科／秋保リゾートホテルクレセント 2018.4.25

総合司会：平成30年度通常総会・地域シンポジウム／日本環境共生学会／日本大学理工学部船橋キャンパス 2018.6.2

セッションオーガナイザー：鉄道整備の国際展開における課題／(一社)土木学会／東京工業大学 2018.6.9

招待講演：The role of transport for disaster recovery - Japan's experience and efforts at the 25th Annual National Conference of Transportation Science Society of the Philippines (TSSP)／TSSP／Xavier University, Cagayan de Oro 2018.7.27

モデレータ：平成30年度FD推進ワークショップ(新任専任教員向け)／(一社)日本私立大学連盟／グランドホテル浜松 2018.8.9-10

講演：Resent Attempts to Create Smart City in Japan + a 2, at Session: 2A Smart City: Connecting Peoples, 11th ATRANS Annual Conference／ATTRANS／Radisson Blu Plaza Hotel 2018.8.24

モデレータ：Session: 3A Friendly Transportationrelated issues, 11th ATRANS Annual Conference／ATTRANS／Radisson Blu Plaza Hotel 2018.8.24

ポスター講演+パネラー：「JICA-JST SATREPS 低炭素領域：マルチモーダル地域交通状況のセンシング、ネットワークとビッグデータ解析に基づくエネルギー低炭素社会実現を目指した新興国におけるスマートシティの構築」日本環境共生学会20周年記念学術大会主要研究プロジェクト紹介セッション／日本環境共生学会／じばさん三重 2018.9.29

講義：Sustainable Urban Transportation System in Asia Mega City (アジア大都市の持続可能な都市交通システム), JICA 研修「都市公共交通」／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2018.10.26

パネラー：Session1: Sustainable outcomes of high-capacity urban public transport projects and lessons learned around the world Sustainable Urban Mobility in ASEAN Cities Workshop／International Transport Forum (OECD), United Nation Economic and Social Commitment for Asia and Pashific (ESCAP), MLIT／United Nations Conference Centre 2018.11.21

講義：平成30年度JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース／発展途上国における交通安全対策(タイの都市における事例)／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2018.12.5

講師：JICA 国別研修「第3回ニカラグア交通需要分析」／(独法)国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2019.2.12-22

■藤井敬宏 教授

講演：都市計画とは「都市のコンパクト化に向けて」／裾野市都市計画審議会／裾野市会議室 2018.6.13

講演：裾野市「千福が丘地区ボランティア送迎」／国土交通省中部運輸局／中部運輸局共用大会議室 2018.8.27

基調講演：バリアフリーに向けた市原市の取り組み／国土交通省千葉運輸支局、千葉県バリアフリーネットワーク会議／千葉県千葉市合同庁舎会議室 2018.11.3

タスクフォース：ワークショップとは／全学FDワークショップ@キャンパス(理工学部)／日本大学理工学部 CST ホール 2018.12.18

講演：公共交通の維持・継続に向けた取り組み事例／市原市南総西コミュニティバス運営委員会／市原市戸田コミュニティセンター 2019.1.13

講演：地域公共交通とスクールバスについて／君津市教育委員会／君津市清和公民館多目的ホール 2019.2.21

■石坂哲宏 准教授

座長：土木学会第73回年次学術講演会第Ⅳ部門交通流(2)／(公社)土木学会／札幌市 2018.8.30

■伊東英幸 准教授

総合司会：平成30年度地域シンポジウム／日本環境共生学会／日本大学理工学部船橋キャンパス 2018.6.3

Chairman：4th International Conference on Science, Engineering and Environment Oral SESSION 3／International Conference on Science, Engineering & Environment (SEE)／名鉄ニューグランドホテル 2018.11.13

講演：米国におけるロードキルに関する取組みと我が国の課題／セッションテーマ「野生生物と交通」に関する話題—生きるべきロードキルデータ／野生生物と社会／九州大学伊都キャンパス 2018.11.24

講演：アニマルパスウェイ情報交換会「米国および豪州ビクトリア州におけるロードキルの現状と対策」／アニマルパスウェイ研究会／大成建設 2018.12.21

副座長：環境アセスメント学会2018年度第17回大会セッション2「政策、制度②」／環境アセスメント学会／法政大学市ヶ谷キャンパス 2018.9.1

講演：「観光シーズンを考慮したシーニックバイウェイ北海道の回遊行動の分析および経済価値評価—大雪・富良野ルートを対象として—」／(一社)北海道開発技術センター／(一社)北海道開発技術センター 2019.2.20

講演：「野生生物と交通」に関する懇談会「ロードキルデータをどのように活かせるか(日本、豪州、米国での分析紹介)」／(一社)北海道開発技術センター・ロードエコロジー研究会、(一社)北海道開発技術センター／(一社)北海道開発技術センター 2019.2.20

講演：環境アセスメント学会若手研究会「米国および豪州ビクトリア州におけるロードキルの現状と分析」／環境アセスメント学会若手研究会／日本大学理工学部駿河台キャンパス 2019.3.4

■江守 央 准教授

講師：日本の計測技術ってすごい！いろんな物で測ってみよう！／TRC 八千代中央図書館／TRC 八千代中央図書館 研修・会議室 2018.7.29

講師：ユニバーサルデザインの視点から環境問題を考える／日本環境共生学会／日本大学理工学部船橋キャンパス 2019.6.3

■稲垣具志 助教

講師：平成30年度PTA 交通安全教室事業委託説明会「子どもの道路横断能力とは？～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区／三軒茶屋キャロットタワー 2018.4.24

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2018.5.23

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2018.6.21

講師：玉川小学校第1回家庭教育学級「子どもの道路横断の判断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～」／世田谷区立玉川小学校家庭教育学級委員会／世田谷区立玉川小学校 2018.7.3

講師：平成30年度幼児交通安全教育セミナー「子どもの道路横断の判断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～」／千葉県環境生活部／千葉県教育会館 2018.7.27

座長：第21回日本福祉のまちづくり学会全国大会「観光」／(一社)日本福祉のまちづくり学会／神戸しあわせの村 2018.8.10

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／立川市女性総合センターアーム 2018.8.22

講師：交通安全セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／(株)日立製作所／(株)日立製作所中央研究所 2018.8.23

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2018.9.19

講演：世田谷区立小学校 PTA 連合協議会世田谷警察署管内地域環境連絡協議会「事故に遭わないための自転車の乗り方とは？」／世田谷区立小学校 PTA 連合協議会／世田谷区立多聞小学校 2018.10.16

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2018.10.18

講演：世田谷区立小学校 PTA 連合協議会玉川警察署管内地域環境連絡協議会「子どもの道路横断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～」／世田谷区立小学校 PTA 連合協議会／世田谷区立深沢小学校 2018.11.2

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは？～」／東京都交通安全協会／小笠原村地域福祉センター 2018.11.16

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／立川市女性総合センターアーム 2018.11.22

座長：第58回土木計画学研究発表会「自転車・交通安全」／(公社)土木学会土木計画学研究委員会／大分大学 2018.11.25

講師：自転車安全利用 TOKYO セミナー「事故・ヒヤリハットから考える自転車の安全利用推進」／東京都青少年・治安対策本部／新宿 NS ビル 2018.12.14

座長：第46回土木学会関東支部技術研究発表会「歩行者・自転車・駐車」／(公社)土木学会関東支部／前橋工科大学 2019.3.13

■山中光一 助教

座長：第53回地盤工学研究発表会「リサイクル(変形)」／(公社)地盤工学会／サンポートホール高松 2018.7.25

座長：第73回土木学会全国大会「斜面(9)」／(公社)土木学会／北海道大学札幌キャンパス 2018.8.29

座長：第15回地盤工学会関東支部研究発表会「構造1(締固め・支持力)」／(公社)地盤工学会関東支部／国立オリンピック記念青少年総合センター 2018.11.2

座長：第23回舗装工学講演会「路床・路盤」／(公社)土木学会／(公社)土木学会 2018.12.6

■菊池浩紀 助手

講師：ニカラグア交通需要分析 (JICA-STRADA)／国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2019.2.12-22

海外出張

2018. 4. 1～2019. 3. 31

教員名	出張期間／出張目的／訪問国
小早川 悟 教授	2018年8月18日～22日／アーメダバード市交通状況の視察とインド工科大学ハイデラバード校での研究打ち合わせ／アーメダバード、ハイデラバード（インド） 2019年2月2日～6日／パティアナにおける交通事故対策ワークショップ参加／パティアラ（インド） 2019年3月3日～8日／10th ATRANS Annual Conferenceおよびスパンプリ市における交通事故対策ワークショップ参加／スパンプリ（タイ） 2019年3月19日～21日／ベナン市役所での情報収集ならびに交通事故多発箇所のビデオ調査／ベナン（マレーシア）
鈴木 圭 教授	2018年8月23日～31日／歴史的コンクリート構造物の維持・補修に関する技術・考え方の調査／ベルン、シアーズ、ペリンツォーナ（スイス）、ローマ（イタリア）
轟 朝幸 教授	2018年9月11日～13日／研究室ゼミ研修旅行／ソウル（韓国） 2019年3月15日～22日／水上飛行機の運用に関する調査／アラスカ（アメリカ）、バンクーバー（カナダ）
福田 敦 教授	2018年4月7日～10日／タイ国バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定（M-MAP2）に係る情報収集・確認業務に関わるタイ政府との協議参加／バンコク（タイ） 2018年4月29日～5月8日／タイ国における地域計画連携に関する調査／バンコク（タイ） 2018年5月9日～11日／タイ国バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定（M-MAP2）に係る情報収集・確認業務に関わる需要予測サブ・ワーキンググループ会議参加／バンコク（タイ） 2018年5月16日～19日／ATTRANS（アジア交通学会）理事会参加／バンコク（タイ） 2018年6月13日～17日／第2回JCCミーティング（合同調整会議）参加および7月アーメダバードでのワークショップの事前打ち合わせ／ハイデラバード（インド）、バンコク（タイ） 2018年7月7日～11日／アーメダバード市でのワークショップ開催／アーメダバード（インド） 2018年7月26日～29日／Transportation Science Society of the Philippines（フィリピン交通学会）講演／マニラ、カガヤン・デ・オロ（フィリピン） 2018年7月31日～8月3日／タイ国バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定（M-MAP2）に係る情報収集・確認業務に関わる需要予測サブ・ワーキンググループ会議（第2回）等参加／バンコク（タイ） 2018年8月6日～9日／タイ交通安全に関するワーキンググループ、セミナーおよび現地調査／バンコク（タイ） 2018年8月15日～31日／1）SATREPS現地調査・研究打ち合わせ、2）ATTRANS年次講演会準備・参加、3）IATSS研究プロジェクト1802C交通安全WS開催／ハイデラバード、アーメダバード（インド）、バンコク、コンケン、スパンプリ（タイ） 2018年9月10日～16日／タイ・コンケン、バンコクにおけるブルートゥーススキャナーを用いた交通状態推定に関する交通調査／バンコク、コンケン（タイ） 2018年9月25日～28日／International Symposium on Lowland Technology 2018（低地工学国際シンポジウム2018）参加／ハノイ（ベトナム）、バンコク（タイ） 2018年10月17日～19日／バンコクにおける交通データ調査方法と需要予測への適用方法に関する打ち合わせ／バンコク（タイ） 2018年10月31日～11月5日／タイ・バンコクにおけるブルートゥーススキャナーによる歩行者の移動特性の把握およびブルートゥースデータの取得のための調査／バンコク（タイ） 2018年11月20日～28日／1）OECD（経済協力開発機構）・UNESCAP（アジア太平洋経済社会委員会）・国土交通省共催ワークショップ参加、2）SATREPS“M2Smart”のプレ実験の実施および関連する調査、3）JICA mPmプロジェクトに関する調査および会議参加／バンコク（タイ）、アーメダバード（インド）、コンケン（タイ） 2018年12月6日～8日／ATTRANS（アジア交通学会）第22回理事会出席／バンコク（タイ） 2018年12月18日～20日／タイ国バンコク首都圏都市鉄道マスタープラン改定（M-MAP2）に係る情報収集・確認業務に関わる需要予測サブ・ワーキンググループ会議（第3回）等参加／バンコク（タイ） 2019年2月2日～10日／1）IATSS（国際交通安全学会）国際連携プロジェクトに係るワークショップ開催および現地調査（インド）、2）国土交通省による交通安全対策ワークショップ開催、現地道路監査の実施およびJICAプロジェクトM-MAP2に係る協議（タイ）／パティアラ（インド）、バンコク（タイ）

福田 敦 教授	2019年2月24日～27日／タイ・バンコクにおける移動体交通調査に関する打ち合わせ／バンコク（タイ） 2019年3月3日～8日／IATSS研究プロジェクト1802Bによるコンケン市、スパンプリ市における交通安全WS開催／バンコク、コンケン、スパンプリ（タイ） 2019年3月29日～4月1日／ATTRANS（アジア交通学会）第23回理事会および総会出席／バンコク（タイ）
藤井敬宏 教授	2018年7月26日～8月25日／日本大学理工学部海外派遣研究員／ワルシャワ、クラクフ（ポーランド）、ベルリン、ニュルンベルグ（ドイツ）
石坂哲宏 准教授	2018年6月14日～16日／第2回JCCミーティングへの参加およびアーメダバードでのワークショップの事前打ち合わせ／アーメダバード、ハイデラバード（インド） 2018年8月18日～23日／アーメダバード市交通状況の視察とインド工科大学ハイデラバード校での研究打ち合わせ／アーメダバード、ハイデラバード（インド） 2018年9月11日～16日／タイにおける交通管制データ収集／バンコク（タイ） 2018年10月7日～10日／SATREPS“M2Smart”のプレ調査に向けた現地調整／アーメダバード（インド） 2018年11月11日～15日／SATREPS“M2Smart”のプレ実験の実施および関連調査／アーメダバード（インド）
伊東英幸 准教授	2019年2月7日～9日／海外の交通保安等に関する現地調査／台北（台湾）
江守 央 准教授	2018年8月30日～9月13日／平成30年度（第23回）理工学部交通システム工学科学生海外研修旅行／フィンランド、エストニア、スウェーデン、デンマーク、オランダ 2018年11月11日～18日／The 15th International Conference on Mobility and Transport for Elderly and Disabled Persons／台北（台湾） 2019年2月6日～9日／速度計測装置の運用に関する研究／高雄、台北（台湾） 2019年3月15日～22日／水上機および水上空港の運用に関する研究／アラスカ（アメリカ）、バンクーバー（カナダ）
安井一彦 准教授	2018年12月11日～30日／交通管理方策に関する調査研究／ソウル（韓国） 2018年7月27日～30日／交通関連機器に関する調査研究／瀋陽（中国）
兵頭 知 助教	2018年11月14日～17日／IATSS海外調査プロジェクト／ニューヨーク、ボストン（アメリカ） 2018年11月18日～23日／IATSS海外調査プロジェクト／アムステルダム、デルフト、ユトレヒト（オランダ）、コペンハーゲン、オーフス（デンマーク） 2019年3月19日～21日／ベナン市役所での情報収集ならびに交通事故多発箇所のビデオ調査／ベナン（マレーシア）
山中光一 助教	2018年9月15日～17日／11th International Conference on GEOSYNTHETICSでの研究成果発表／ソウル（韓国）
菊池浩紀 助手	2018年8月4日～13日／International System Dynamics Conference 2018にて研究発表およびストックホルムにおける土地利用および交通形態の視察／レイキャビク（アイスランド）、ストックホルム（スウェーデン） 2018年8月22日～26日／11th ATRANS Annual Conferenceにて研究発表／バンコク（タイ） 2018年8月30日～9月6日／交通システム工学科海外研修引率／ヘルシンキ（フィンランド）、タリン（エストニア）、ストックホルム（スウェーデン） 2018年9月25日～28日／International Symposium on Lowland Technology 2018 Conferenceにて研究発表／ハノイ（ベトナム） 2018年10月31日～11月5日／タイ・バンコクにおけるブルートゥーススキャナーによる歩行者の移動特性の把握およびBTデータの取得のための調査／バンコク（タイ） 2018年11月21日～25日／SATREPS“M2Smart”のプレ実験の実施および関連する調査／アーメダバード（インド）
吉岡慶祐 助手	2019年2月2日～6日／IATSS（国際交通安全学会）国際連携プロジェクトに係るワークショップ開催および現地調査／パティアラ（インド） 2019年3月19日～24日／ベナン市役所での情報収集ならびに交通事故多発箇所のビデオ調査、De La Salle大学での研究打ち合わせおよび交通需要予測ソフトウェアの講習／ベナン（マレーシア）、マニラ（フィリピン） 2018年8月18日～23日／SATREPS“M2SMART”研究打ち合わせおよび現地調査／アーメダバード、ハイデラバード（インド） 2019年1月12日～18日／98th TRB Annual Meetingでの学会発表／ワシントンD.C.（アメリカ）

外部研究資金の受入状況

2018. 4. 1～2019. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）	教員名
研究課題	
IHI 運搬機械株式会社（2018.7.20～2019.3.30） 中核都市に求められる駐車場の明確化……………	小早川 悟（代表）
日本能率協会（2018.9.1～2019.3.25） 路上・路外の駐車スペースを連携した複合的な路上駐車対策の実現に向けた道路空間の利活用に関する調査研究……………	小早川 悟（代表）
トヨタITセンター株式会社（2018.12.20～2019.2.15） アジア交通課題調査の事故データ記録ツール評価……………	小早川 悟（代表）
朝日航洋株式会社（2018.9.10～2019.3.31） MMSにより取得した点群データの基礎的研究……………	佐田達典（代表）
㈱アイ・トランスポート・ラボ（2018.4.11～2019.4.10） 高速道路渋滞モデルの研究……………	下川澄雄（代表）
浜名湖水際都市創造研究会（2018.10.5～2019.3.31） 浜名湖地域における水辺のまちづくりに関する研究……………	下川澄雄（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（B）（2016.4.1～2019.3.31） 安心安全運航のための水上飛行機離発着場整備に関する研究……………	轟 朝幸（代表）、江守 央、兵頭 知ほか
国立研究開発法人科学技術振興機構（2018.4.1～2019.3.31） マルチモーダル地域交通状況のセンシング、ネットワークキングとビッグデータ解析に基づく エネルギー低炭素社会実現を目指した新興国におけるスマートシティの構築……………	福田 敦（代表）、石坂哲宏
成田空港地域共生・共栄会議（2019.1.23～2019.3.31） 成田空港地域道路課題調査システムに基づく課題の解析……………	福田 敦（代表）、石坂哲宏、下川澄雄、轟 朝幸、小早川 悟
住友電工システムソリューション㈱（2018.6.01～2019.03.31） 非公開……………	安井一彦（代表）
首都高メンテナンス神奈川（2018.05.10～2019.03.31） 非公開……………	安井一彦（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（C）（2017.4.1～2021.3.31） ひび割れとプレストレスの複合的影響を考慮したPRC部材の塩分浸透特性評価法の構築……………	齊藤準平（代表）
（公財）大林財団研究助成金（2018.4.1～2019.3.31） 都市基盤施設の長寿命化に向けたPRC橋梁の長期使用のための鋼材腐食診断法の構築に関する実験的研究……………	齊藤準平（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（A）（2016.4.1～2020.3.31） 我が国の自転車通行システムの整序化へのコンセンサス形成戦略……………	山中英生（代表）、稲垣具志ほか
学校法人中央大学研究開発機構（2018.10.9～2019.3.31） 羽田空港における視覚障害者誘導用ブロックの改善方法に関する研究……………	稲垣具志（代表）、小早川 悟

受賞

2018. 4. 1～2019. 3. 31

賞（受賞年月）	教員名
日本環境共生学会／奨励賞／ 道路整備事業への代償ミチゲーション制度の導入の可能性（2018.9）……………	伊東英幸
International Conference on Science, Engineering and Environment／ Best Paper Award, 4th International Conference on Science, Engineering and Environment／ LIFE CYCLE IMPACT ASSESSMENT OF NEW GROUND MATERIAL AND EMBANKMENT CONSTRUCTION METHODS CONSIDERING RECYCLING（2018.11）……………	伊東英幸、四十物賢人、藤井敬宏

平成30年度 学生の受賞等 2018. 4. 1～2019. 3. 31

主催者／賞などの内容（受賞年月）	受賞者氏名（研究室）
（公社）土木学会関東支部／優秀講演者賞／ 高速鉄道整備による集積の効果の推計—タイを事例として—（2018.5）……………	直井大地（交通システム研究室）
日本地域政策学会 第17回全国研究【岡山】大会／日本地域政策学会 会長賞／ 学生ファシリテーターによる公共交通改を目指した住民ワークショップの取り組み —千葉県君津市小糸・清和地区の取り組み—ポスターセッション（グループ部門）（2018.7）……………	伊藤 涼・星野遼太・原 拓海・福田捷樹（交通環境研究室）
（公社）土木学会土木情報学委員会／第43回土木情報学シンポジウム優秀発表賞／ MMSを用いた3次元点群データにおけるサイン評価への適応可能性の検討（2018.9）……………	太田耕介（空間情報研究室）
（一社）日本福祉のまちづくり学会／第21回全国大会大会奨励賞／ 3次元点群データを用いた車いす使用者におけるサインの視認性評価—地下改札外コンコースを対象として—（2018.12）……………	太田耕介、江守 央、佐田達典（空間情報研究室）

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ 卒業研究発表会

安井一彦・伊東英幸・山中光一（4年生担任）

平成30年度の卒業研究発表会が平成31年2月16日（土）に船橋校舎14号館にて開催されました。

本年度は、120件（発表者125名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生、1年生、保護者など多くの参加者がありました。

発表は1テーマあたり発表8分、質疑応答4分の合計12分で研究内容の発表をしました。この発表では、自身が1年間かけて実施した研究を8分という短い時間でまとめ発表しなくてはならず、事前にしっかり準備をする必要があります。そのため、1年間を通して卒業研究の全体講義や研究室での打ち合わせを実施しています。

多数の聴講者の中で発表するということもあり、緊張している学生が多く見られましたが、講義や打ち合わせで学んだ内容や繰返し行った発表練習の成果が発揮できていたようです。

また、最後の講評では、本年度実施した理工学部学術講演会での優秀発表者賞の授与式も併せて開催されました。



卒業研究発表会場の様子

■ 平成30年度修士論文審査会

下川澄雄（大学院担任）

大学院博士前期課程の修士論文審査会が平成31年2月27日（水）10時より船橋校舎1325教室、1326教室にて開催されました。発表および質疑応答はそれぞれ10分と限られた時間でしたが、内容的にもしっかりしたレベルの高い審査会となりました。そして対象者全員が審査に合格し、3月25日（月）に修士（工学）の学位記が授与されました。修士論文の一覧は本号8ページをご覧ください。

審査会までの間、中間審査会が1年次に1回、2年次に2回行われました。この中で、1年次は研究の動機づけや目的、着眼点、方法などといった研究の枠組みについて、2年次は得られた結果と解釈、それまでの過程における仮説や分析方法とその妥当性などについて、時間をかけて活発な議論が行われました。これらを通じて、大学院生として物事に対する論理的な考え方が身につく、確実な成長を見ることができました。さらに、学会等での学外発表も積極的に行われ、有識者および他大学の学生との討議は、自身の研究はもとより自らを大きく成長させたのではないのでしょうか。

大学院生活はたった2年間ですが、その価値は社会人の2年間をはるかに凌ぐものであり、その貴重な経験は血と

なり肉となりさまざまな場面で生かされるはずです。交通システム工学専攻の修了生として、大いなる活躍を期待しています。

■ 事務室からのお知らせ

伊藤順子・熊田悦子・高梨美紀子（事務室）

一日一日と暖かくなりはじめ、春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。新入生は新生活への期待と緊張と複雑な心境でしょうか。また、在學生は新学年に向けて意欲を燃やしているのでしょうか。

さて、事務室では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっております。また、公務員志望の方のために、参考書や問題集の貸し出しもしています。ぜひ活用してください。気軽に学科事務室に足を運んでくださいね。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日～金曜日	9:30～13:00、14:00～16:00
場所	7号館2階7214室	

*入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。

TOPICS 新任教員の紹介



桑原雅夫 客員教授

本年度より交通システム工学科の客員教授となりました桑原です。私の専門は交通工学で、2010年3月まで勤めた東京大学では、交差点の信号制御の高度化、高速道路の折り込み

区間やサグ（縦断勾配が変化するところ）などの渋滞対策、広域な道路ネットワークの動的な交通流解析やシミュレーション開発などを手掛けてきました。また、大学としてはわが国初となるITS研究センターを立ち上げ、ITSに関する研究開発と産官学連携、国際連携を進めてきました。

2010年4月からは、縁あって今所属している東北大学大学院情報科学研究科に移籍しましたが、1年もたたないうちに、千年に一度の東日本大震災を仙台で経験しました。この貴重な体験の後は、研究の方向をモビリティを通じた避難支援に大きく方向転換しまし

た。DOMINGO（Data Oriented Mobility INformation GrOup）という共同研究体を民間企業と一緒に立ち上げて、大震災直後の交通渋滞の発生過程を究明して対策を被災地と一緒に立案したり、避難所への緊急支援物資供給の実態解明と対策を提言したり、あるいは近年利用できるようになってきた移動体データ（プローブ車両データ、スマホデータ等）を活用して、災害時やイベント時の非日常をいち早く発見したり、その危険性を予知してアラートしたりする研究を進めてきました。

交通システム工学科の諸先生方には、これまでも学会活動や共同研究などで、大変お世話になっており、馴染み深い先生方との新たな研究の開始、ゼミ生や大学院生諸君との議論を大変楽しみにしています。また、趣味もゴルフ、テニスといったスポーツからクラシックギター、麻雀まで多趣味ですので、こちらの方でもよろしくお願います！

平成30年度 就職状況

4年生担任 安井一彦、伊東英幸、山中光一

平成30年度の学部卒業予定者は125名、大学院の博士前期課程修了予定者は20名（社会人大学院生を含む）、合計145名に対し、就職を希望しない学生を除くと、100%の学生の進路が決定しました。

本年度の就職活動は、昨年と同様に3月1日より開始となりました。昨年と同様、前半に内定が多く出ていますが、本年度は11月等の後半にも内定者数が増える状況でした。

就職先の業種別では、建設業（建設コンサルタントを含む）が45%と大きな割合を占めました。本年度の傾向としては、例年に比べ公務員が12%（昨年度は20%）と希望する学生が少なく、民間企業を希望する学生が増加し、運輸業（主に鉄道会社）の割合は22%と昨年（18%）に比べ多くなりました。大学院への進学やその他の業種については例年通りの傾向となっています。

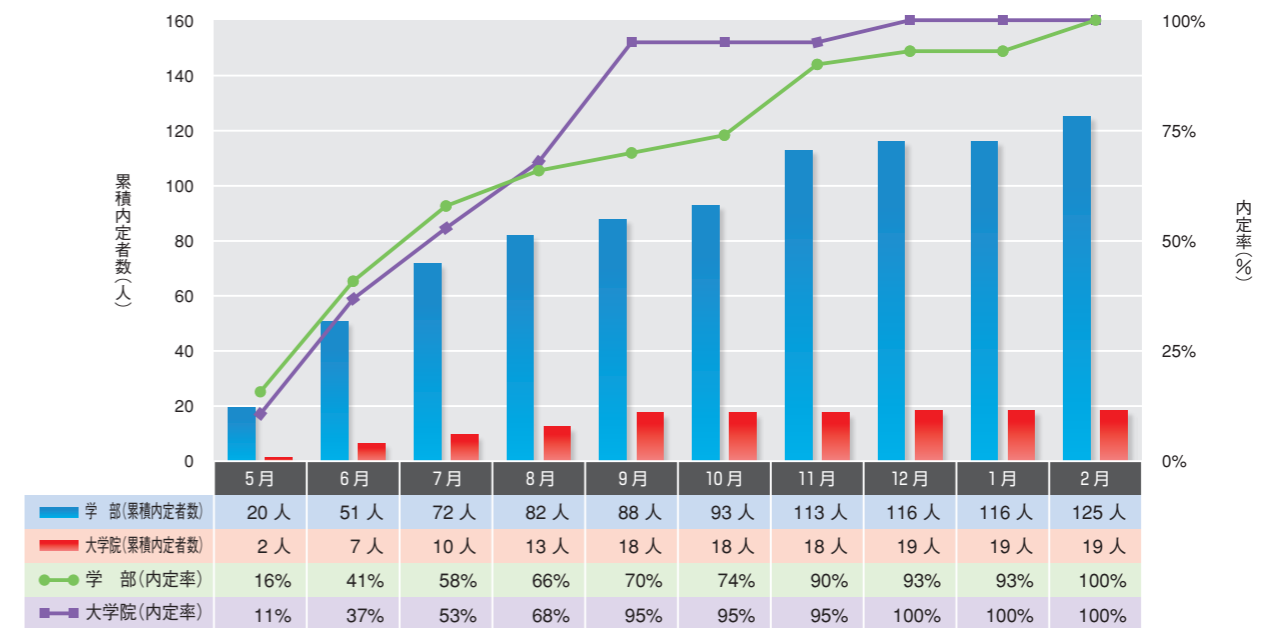


図-1 学部・大学院の内定者の推移

就職先業種別内定人数

内定先業種	大学院(人)	学部(人)
建設業	9	55
運輸業	8	28
地方公務員	1	15
国家公務員	0	0
大学院・進学・研究生	0	18
情報サービス	0	1
複合サービス	0	0
一般機械器具製造	0	0
学校教育	0	0
通信業	0	1
希望しない	0	4
その他	1	3
合計	19	125

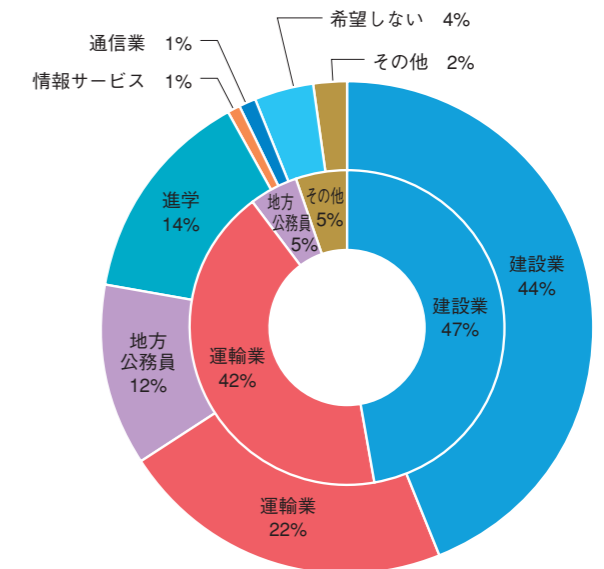


図-2 就職先業種別割合（内：大学院、外：学部）

表彰

平成30年度（第62回）理工学部学術講演会 優秀発表賞

齋藤幹貴さん（4年）

交通システム工学科4年の齋藤幹貴さんが、2018年12月5日に行われた「平成30年度（第62回）理工学部学術講演会」にて優秀発表賞を受賞しました。

論文名は「機械学習を用いた3次元点

群データの属性付与に関する研究—道路区画線を対象として—」で、これまで手作業で行っていた点群処理作業を機械学習を用いて自動化する仕組みを提案するものです。



日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会 大会奨励賞

太田耕介さん（博士前期課程1年）

交通システム工学専攻博士前期課程1年の太田耕介さんが、2018年8月8、9日に行われた「日本福祉のまちづくり学会 第21回全国大会」にて大会奨励賞を受賞しました。

論文名は「3次元点群データを用いた車

いす使用者におけるサインの視認性評価—地下改札外コンコースを対象として—」で、モバイルマッピングシステムで取得した地下鉄駅の点群データを用いて車椅子使用者が各種案内板を視認できるかシミュレーションから評価したものです。



日本地域政策学会第17回全国研究【岡山】大会 ポスターセッショングループ部門 会長賞

伊藤 諒さん・星野遼太さん・原 拓海さん・福田捷樹さん（4年）

2018年7月21日に開催された日本地域政策学会第17回全国研究【岡山】大会にて、交通環境研究室の伊藤諒さん・星野遼太さん・原拓海さん・福田捷樹さんの4名が、ポスターセッションのグループ部門で会長賞を受賞しました。

内容は、3年次に研究室全員で取り組んだゼミナールの社会貢献型学習の成果で、「学生ファシリテーターによる公共交通改善を目指した住民ワークショップの取り組み—千葉県君津市小糸・清和地区の取り組み—」です。



編集後記

東京オリンピック・パラリンピックの開催を後1年後に控えるとともに、大阪万博の開催が2025年に決定され、大阪市の人工島となる夢州（ゆめしま）を会場として1250億円を掛けて整備するといわれている。一方で、2018年4月から現在まで、日本各地で、震度6弱の地震が北海道、関東、大阪、九州を中心として続いており、津波や降雨による自然災害の脅威も高まっている。日本のお家芸である技術を駆使し、夢を語るのが前者であり、その技術を使って、いかに災害による影響を低減できるかが、これからの課題であると思う。

交通システム工学科は、このような現実の課題を真摯に捉え、どのようにそれらを応用していくのかを考えていく必要があるだろう。現実には常に進化し、それに対する回答も、刻々と変化していく。私たちは、こうした現況を踏まえ、常に対策を考えていくことが求められている。（鈴木）

早いもので、もう年度末直前である。平成最後である本年度を振り返ると、平昌オリンピックやロシアWカップなどスポーツで盛り上がった一方、西日本豪雨、北海道胆振東部地震や台風など自然災害が多い年でもあった。私事では、学会参加、海外調査を中心に精力的に活動できたものの、その都度考えるべきことが多い年でもあった。とりわけ、海外調査では調査計画から実施まで一貫してやることの大変さを学び、とくに調査時における相手先との意思疎通の難しさを痛感した。基本英語のコミュニケーションではあるが、相手先の母国語が英語ではない場合が往々にしてあり、言語や文化の違いなどからくる微妙なニュアンスの違いを理解するのに苦労することが多かった。今後ますます、グローバル化の進展から海外での仕事は増えていくと思うが、本年度の反省点や経験を材料に満足のいく仕事につなげたいものである。（兵頭）